(主大の中船は真鍮) て丸洋春らか國米

山地地方に撤退すれば蔣邦の場合

「北平十一日發電」消息通の脳察 によると滅蔣陽軍は第6一方を制

利の場合、河南の

別に 概らずして 耐酸の主人公となど ない、 新くして 歌歌が長びらほと を開撃は 困難を 越ずる 斯うなれば と で 歌歌が長びらほ

まだ到らぬのである、 熟れにし

割削減

金

要求額本年度に比し一二割増

近く省議で原案決定

(日曜水)

## 原農場 令と稱 事開始

町を襲撃するは不断きなりと工事の中心を要求せるに支那側は市政廳の命令なりとてし架橋工事を開始した、それを知った榊原殿場事物所では一宮の操郷もなく趣味を撤送し水安る九日より北陸に通ずる榊原殿場を衛膨、橋梁 附近の堤防約十間餘を無斷破壊、高季等電十二日を3不規侵略による緩道殿設問題尚未解決である北陸礫原農場に難し支那雌は更に「東天神電十二日を3不規侵略による緩道殿設問題尚未解決である北陸礫原農場に難し支那雌は更に それが貸め水田約八百坪を侵略されるであらうが右に鉄に機中を藉さずが送にも工事を継續してゐる、右工事は現在の北陸衛道を機破 侵害される水田は約日 あるらし、 通電を發する
通電を發する

代理人として十一日来天總領海龍に工事中止方の変態を要求したが問題は更に粉縛するものと見らる

### 將馮兩軍は孰れも 徹底的決戰不 可能

夜間十二時より一切需要並に通行

した

哈市に戒嚴令

は おが、たい源氏を利用する時期が たい、脚舎が到来せば屋意を選集 した新政府組織を都認し此意味に した新政府組織を都認し此意味に した新政府組織を都認し此意味に 立の手に振った質性 分の色目を見せ開着を

イタリー領界にありて一覧によると簡単形 鹿鐘鱗氏等 類に第重 五日夜石友三

観氏の何き道 を操縦し容易 の何き道

がは傷めて草儲で、東鎌 地行中かどうか判例せぬ で、東鎌 で、東鎌

それを利用する間氏

新問題につき社哈ドイツ機領事人 第一日教 第支交 露支正式交渉の 成立は容易

日登 第支交 管理局長の標限に関し何れ 事談

で行はれるか未だ決定はしてはして正式會職地が大連政は奉天して正式會職地が大連政は奉天而を全然望みなきものに非ず、而

深夜の営業通行禁止 を禁止し電字新聞を検問するに決 集島哈蘭賞事務所長に内交形して 順に「無限金属に変更は混るから 頭に「無限金属に変更は混るから 関に「無限金属に変更は混るから のとか方法を講じて責ひたい」と 議了となり議録は十一日より町通告は既報の如く十日を似て割 行はれた機機である、而してww 家でゐる程度で二三回の内交跡 南下輸送 に全力を挙げ

運賃値上云々を以て虚野を

度は特産商を偏て、破来通告の適告に對する今日までの重線の

豫算

我海軍現勢表を 列國に提示

し海派と呼ばれてゐます。異は三一す。 脚を明らかにする鶏め米國政府の一力艦、航空母艦、巡洋艦、脚窓艦舞動加國の急勢に供し且つ會職と一物省にも到論した右表の内容は主まる七日附豐書を以てロンドン會「各國政府に送除したが十一日現外去る七日附豐書を以てロンドン會「各國政府に送除したが十一日現外」

には馬獲も斬らずばなるまい。

ものですが無名の大家は決して少した。現在生きてゐる知名の す。陳は山水、花鳥に勝れてるた 木は日本にも能く知られてるま 水は日本にも能く知られてるま てから自由に古織を觀たり暴露すくありません。それは民國になつ 桃は三年前●金は一作年故人になた。桃は山水が得意でした。眺と ばかりでなく書も業城も大家でし さい名画は今容易に求められなくなりました。まだ國内にも際山となりました。まだ國内にも際山した動は職だしいものと思ひます。 とは我歯として臓に凝然なことで したいのですけれどもね ます。出来るなら勿論自國で保存

本に、 ない日本部学生で教育界川外の賞 であるから珍しい。「然口支店 長より賞地で店長に栄暖してより 長より賞地で店長に栄暖してより であるから珍しい。「然口支店

た事を聞かされ大笑のしました。 た事を聞かされ大笑のしました。 大は私が若い時に書いたものだつ 大は私が若い時に書いたものだつ

光緒年間になって超之歌と果然

に快ぶく記者を述べて語べ。 職職しながら韓氏は支店の局接達

、康熙だらうと思ひます、唐、書の全緒時代と云べば清朝の乾

まちの前費人ですよ」

でなく大朝文字と実際をもよくでなく大朝文字と実際をもよく ました。此人は江西省の南島で 内をしてゐましたから私は南島 に在離中随分探しましたが認

毎節りを手でしまったりあつて大一氏の破骸は大津の本宅に五十匹 入れることに決定し其官要表して あるが、前記の如く非常なる減粒 を見てある此際十五萬石の買上を 一十二月午前十時より殿相官邸に 未数姿域動を召製し、繁二間敷優 を表して来る。 一十二月年前十時より殿相官邸に 一十二月年前十時より殿相官邸に

機関校が設立されて十分研

勢跳が同意 あり又局長の せぬならば支

希望せぬ

『ハルピン特電十二日発』 整支交 形氏は大浦から藤哈して語る 代表として交渉に當ることは自 分は希望せぬ、それは前に代表 として満洲単へ出向いた際最勢

者織江英祖駅を十一月十五日限

蔡鴻升氏日

一日南京で正式窓印を了し本画の人使館よりとこ

要左の如

界和借に闘する英支協定政府は一七六一年四月の

頭より全文優裏されたが概念

調印全文發表

つて代表だることは面白くなり、から十萬圓牧駒したとの風評をから十萬圓牧駒したとの風評を

悩む東鐵 五百萬圓の増收

特に西部、東部各線(製鋼に於て

百坪

拂戾協定破棄の 對策に

類型に黙しての捕戻し金伽定映 機器が東磯に黙する貨物輸送的

駐支米國公使に

ジョンソン氏を任命

一を中心とした貨物が浩飛線に、東 部線に終ては音長線に夫々馬車軸 で吸收されることを恐れ本年は 質値上などは全く管理の可能性は「ン氏は四十八時間以内に註支公使があるので哈爾賓、覧観子間の選」管電極東部長ネルソン、ジョンソがあるので哈爾賓、覧観子間の選「管電極東部長ネルソン、ジョンソ機分の登はあるが)では二郎後の「アシントン十一日設電」 闘務決機分の登はあるが)では二郎後の 官・別極東部長ネルソン、ジョンリ さるべしと嫌符さる

に増散し武力的野気を際4 と関節がし火変形でである。

鎮江英租界

還附條件

の非際要はてとら 青聯

委員會及び演説會の次第決定

來廿二、

四兩日奉天で

第一

一回議會

日開 本第二日 午前八時より十時迄委 、潜水艦の五項につき鑑者、起工 食養白 四十時より本會議 本委員 紫工年度、探水量、偏径、建設 は大連支部では十二日午後大時よ 物等につき終編表示し既成、建造 が 横動使を 明き 神音振楽につき 振歌飛行師、速力、機関様式、燃 かってるる、 尚日本政府も 音韻に 大立ち日本海取現努力表を作成し する 哲学 では して 会議 神館 で は して 会議 神館 で は して 会議 神館 に 登する

軍縮會議資料として

外國炭不購入

大觀小觀

定十二日公布すると 米買上は 鐵道局で決定 日本では内臓更迭毎に前大官に要混滅出、メキシコでは大統領の悪事毎に市経験の

五分、事業費一割、機需費三期、線搬費一期等の標準に建つて二階の解棄を行ひ一般機能よりの補充財された避算業は本年度業算に比し何れも一、二階方の増加にて之に跳し一般動能同様、事務費一翻大職省は既定概費の能収につき中五、六日項省議を開き原案を決定することとなつた、接務省より延、東东十二日發電】植民地特別會能の例年度業算概算は目下大蔵省主批局にて査定中であるが、先づ、東东十二日發電】植民地特別會能の例年度業算概算は目下大蔵省主批局にて査定中であるが、先づ

金要求額合計二千二百五十七萬國を極力減額する方針であると五分、事業費一割、機密署三書、總經署一書等の利針下書とて

畵を樂し

むむ

大適中國銀行經理

**韓舗裳氏談** 

在旅大支那名士。趣味五

すけれども乾燥、腺熱料代の四ならぬやうに云ふたもあるやう

年前に失くなりました。

年度震内地米を出礁り柳に於て買生では先月十八日戦施せる十五萬石賞替に際し特別の事態をせざる限り頭却同數量の昭和四年では先月十八日戦施せる。 デモ作以下となつてゐる 梁想高は最近五ヶ年の平域教養高 【東京十二日愛電】第二回米牧養 を示し、李年作以下となつてゐる石に比し六十一萬二千餘石の減少天千八百九十七萬四千五百三十一 七十五歳の老師を提げて明府を許再出版権の賃め要宗書氏の實母 ふ此母にして此子ありかっ

を標き歌し皮と肉を四散せしむ。 交通脈線デーにまんまと領耶人 やない、どうやら永砂ささらの られた河南の戦災、云はぬことが 部語を**被んで件**変形に表成の方は

子前の、四五 後 八、一〇 福前七、二〇 後 八、一〇 後 八、一〇

般讀者から募集します、左記規定により應募を希望します恒例により昭和五年新春紙上を飾るべき文藝作品及び寫真を一 新 年 文藝·寫眞募集

、大さキヤビネ以上、新聞掲載に適するもの句、川柳は五句以内、編輯局選情等年継詠、和歌は一名五首、短詩は三鷹、俳

滿洲日報社編輯局

で市街戦

けふ赴任

商は本社会事に発彩の大連支店長に発売の大職の大職の大職の大職の大職の大職の大職の大職の大職の大職を表に計れて1日出版の上海定期を住しば一時間後に出版の上海定期を住しば一時間後に出版の上海定期を表に対しては同じく上海支店服務を表に対しては同じく上海支店服务を表した。 飯塚勝沼兩氏

延期しては傾何との諸関策を附属 ゼルに設立すべきことを正式に決補場一致で有換應銀行を踏西パー 監慎金決情観行設立委員會は本日 墨大統領選學 決濟銀行設立 委員會で決定 老界。家庭藥

第の競奏で英米市場に貯蔵を以て 第の競奏で英米市場に貯蔵を以て 府歌語を科す、米國の荷機轍とり 阿片常輸の副領事夫妻に南京政 ▲無諫氏(海薬公司事務) 同上内周上内地經由豪譚(周上內地經由豪譚) ■平島徴夫氏○前浦鐵地方良長○ △飯城祇吉氏(前大阪商船大運支 近江セールス株式倉祉 鼻かたる あかぎれ V. 神經病 化粧下 肌あ 500

馬ドルの阿片密線を企て世界の耳の南京十一日観覚』アメリカに百

密輸副領事夫妻

處す

南京政府の對外第

れぬ失業者

市社會館の行商計畫も

馬耳東風で暮す

中心人

京城から

## られる失業者 活況

所に落ちついた

犯人は不起訴首相暗殺未遂

月相官邸を出た首相用自動車に飛信 【東京上二日設電】 表る二十八日

たが総帯野生七十一名

と高者生の範囲は際く記誌に顕

縁族、大十一名は檢事局に於て取たが檢舉學生七十一名のうち十名

支那劇場も

時代に目覺める

小崗子の同樂舞臺が

上海大舞臺と同型に改築

の豫定を變更し東紫耀泉に向ひ来時三十分釜山艦、直ちに東京騰宏

臨時雇三百五十名採用

及び列車區、機器區に百九十名を採用し從來の從製鼠を弱上げ其後釜に入れる方針である、然し乍らひ入れて入るが、內七十名は支那人をとり其內職は大連場頭百二十名、長春藤二十名、他各陣二十名其總果此多代時期間約三百五十名の臨時增鼠をなし先月下旬より大連、長春及び涨酸各地に於いて雇業総聚の総果東行鑑物が南下もほに今多は溝鐵線は未曾有の活況を基し線道部は爬の種る歴代しい **『夢者の腹脈歯は敷年率より補機各部に山鎖して居り其内より適常なる者を運搬して目下採用通** 月の就職者を見る事は不量類のドン底にある今日珍しい現象である。 日る大郎で新職等者を入れる絵地は無いが大通に於いて日本人失衆者は 性格破産 の成るべく無量せの方針であると 東って首相が車内に在りと誤談し 東って首相が車内に在りと誤談でを取り出し暗談未談に絡った 事件の被告本所區東大工町指物機 本所區東大工町指物機 本所区東大工町指物機 本所区東大工町指物機 本所区東大工町指物機 本所区東大工町指物機 本所区東大工町指物機 本所区東大工町指物機

真澤な女生徒の服装

標準服を制定する

女學校とも連絡して慎重研究

つて頂きたいと を自覺せしむる になるのですか になるのですかない を自覺せしむる

閉鮮疑獄の



総として近く後等に日際品を としむる批量があることは既 があることは既 があることは既 があることは既 があることは既 があることは既 があることは既 があることは既 があることは既 を が 毎日市中を解極して同難人を 毎日市中を解極して同難人を 毎日市中を解極して同難人を 毎日市中を解極して同難人を 毎日市中を解極して同難人を 毎日市中を解極して同難人を

■暦は交通訓練デーで全署を駆げ 下二日午前十一時三十八分ごろ大 電車の轢殺 違った電車で

有様で、此點考案の餘地ありと當 様のは三圓五十銭も要したと云ふ 様のは三圓五十銭も要したと云ふ 検から女郎校に上った場合の総般 との職能をも考慮に入れると 日の會議に於て女生徒標準服を制 大連西頭り七二第二野津ビルデイ 野津ビル解決 に制版を制定するが小

型状に異國の花と吹きロシヤ美人 としてキネマ駅に名を見われてる たモスコー生れパースケー線は、 たモスコー生れパースケー線は、 舞ぶ下総分のため上海に赴いたが 舞ぶ下総分のため上海に赴いたが ロシア美人が キー

若く

艶々しく

根本から肌を実しく

pompeian

上記に舞ひ見つたが、何時流も遊 窓」の憂目を見、一先、先月上観 窓上が脱れの故をもつて『お掘ひ 日入港の大連丸で来連した

政稱から

取職といふ名職はどうも「監」などといかにも皆の監脈を思ひ出させる機な名職で、現在その監獄を思ひ出さ

ALALALALALALALALA

### 保險料一圓五十錢保險金二千圓 とスケ が生る

盗んだ男が

ソノに残傷つた

一運送保險會祉で

本名 田秀情が失敬したお中人の 一年間率大省職性系の農夫的観でもは、 一年間率大省職性系に於て職への土産 をした大洋九十四を故郷への土産 立 一年間率大省職性系に於て職への土産 でたが収職の総果窓鞭国出たが、同夜虎の子 でたが収職の総果窓鞭国出たが十八番 でたが収職の総果窓鞭国出たが十八番 でたが収職のとして就能したが十 日本語が失敬して居るのに青 として出る。 は、日本語の子が、同夜虎の子 は、日本語の子が、同夜虎の子 は、日本語の子が、同夜虎の子 は、日本語の子が、同夜虎の子 は、日本語の子が、同夜虎の子 は、日本語の子が、同夜虎の子 は、日本語の子が、同夜虎の子 は、日本語の子が、同夜虎の子 は、日本語の子が、日本語の子の子が、日本語の子が、日本語の子が、日本語の子が、日本語の子が、日本語の子が、日本語の子が、日本語の子が、日本語の子の子が、日本語の子が、日

日

和

け

量

シ擔保ナ を擔保するものとす を確保するものとす

行賜害特別約

三、宝十钱 日以內一個、十五日以內一個、保險料率、三日以內五十鎮、

體育保険と 保險金額、一千圓以上二千圓 野津との契約に基き早速前配ゼルー幡宅した一番等した。尚石橋は「明し九十四も無事に関り大喜びで古跡を取下げ和解した。尚石橋は「明し九十四も無事に関り大喜びで

證據 蓋平城内で押收 馬賊團の本據を襲ひ の拳銃

遠征する時には加入

故澤幡部長殺し檢學

鮮人學生

衝突解決

元東京カフェー女船電子とと編木 ツル子が浦線機関耳顧屋奉義を傷 要子に転し遺骸の意を表し示談に なつたので事業が軽極でもあり十 女給毆打不起訴

人力車・町突・十一日午前八 特五十分頃大連朝日廣場の大和町 特五十分頃大連朝日廣場の大和町 時五十分頃大連朝日廣場の大和町 時五十分頃大連朝日廣場の大和町 時五十分頃大連朝日廣場の大和町

愈々改築が出來上りました

ラ

棒に安いのどすえ

十日より三十日まで披露の御印に

を生

額にて差上

ます

宏來洋行 蜜柑鯛屋

しを御待ちして居ります御宴會場に適當な大廣間、

粹向きの小間も出來上り皆樣の御越

は

九六

市内二集町四一里層有フリースの東端の工海千丸(船長金明根)はまる八日海洋島に向ふべく露西亜まる八日海洋島に向ふべく露西亜まる八日海洋島に向ふべく露西亜 を東翼局物質に呼ぎ出され大連署 一十五銭を常輸し自宅に膨脹し居る 十五銭を常輸し自宅に膨脹し居る 食堂車給仕の密輸

別等上生 | 大阪市港區吾妻町巨人男 生 | 大阪市港區吾妻町巨人男 生木三友社吉と選近悪筆問はず見宅で執筆する収入母実年中無例の人 大王印ごム靴 **特價提供加犯外進呈** 

子の君守同様「君子」といふ名 發動機船衝突 **監反緒や飛鳥所からの切ない** 新 大阪赤味噌 (建味) 等 京都白 場奈良漬 京都白 味噌 (建味) 等 東京風菓子謹製

國酒類 すったカカル や周防名音名音 す 000

8

各地名産 珍 物

规进时四丁目 复四四六三哥 連に際しては御多用中の處照を御見逸被下御厚情厚や御體甲上候常地在動中は公私共一方ならず御飄情を賜り離有率愛謝候本日織小生饌 

4 全構至る所の一流洋品店化 粧品店薬店消費組合にあり

\* マツサージ

殺の現場×は数

では、五階の僧を粉砕され取死した ・ 一般にかけられて右足を機 ・ その上車輪にかけられて右足を機 ・ でのとするにかけられて右足を機

交通訓練

苦力が千代田町で惨死

大連に膿はしき戯場を建設す

考慮するかに就ては公主債長半 大阪場に依頼して之を定むると に、色豆及疾錐物に作柄の鯉凶に 佐り影響を張らざる爲之が混入 量は過去の度積を整づる長之が混入 量は過去の度積を整づるとし一定

漫經畵濟

日本の開発區域も欲しいがサテ自由港を捨るものも常いの……ニヤントか開東州福君一思案セプばなる

に財與する法案を提出した 別は議會に普通直接演事権を 関係を提出した

土國議會に 普選案を提

rh

**基雑は経** 

改善問題

結局は四制度に盡く

その利益ご弊害

上に於ても自由放任主

◆…さなきだに多湯ぎると言はれてある大連にいよく、小質商店の大漢水時代が現出するらしいの大浜水時代が現出するらしいである、メガこれに繋する消費力を一覧いづこに求めんとす

◇…解来十萬以上の人口増

東するといはれてゐる昭 本するといはれてゐる昭

特産出廻活況に入り

貸出預金共に

版で、 原語に難して左の如く改善する必 の語に難して左の如く改善する必 要ある旨を脱資してきた、而して

本改正方法に依り作成するものと本年就標準見本の作成に當つては

輸送

後五時より門司俱樂部で開かれた業職合會庭時評議員總會は本日午 全國石炭聯合總會にて決定

預金及び館出高の膵臓を示せば左来し別頭の如く十月来帳別は近来になき機増を来してゐるが、金観になき機関を来してゐるが、金観に近天 混保大豆見本

満鐵改正を企圖 外觀的特性をも加味する 特産三團體へ照會

を合理的ならしむる総公主債長 事試験場に依頼の上最安富なる 付譲想に依近いたで特等品五パーセント、一等品三〇パーセント、三等品三〇パーセント、三 ・、二等品三〇パーセント、三 ・、二等品三〇パーセント、三 ・、二等品三〇パーセント、三

開銀譲渡に

有志反對

撤囘方を懇談

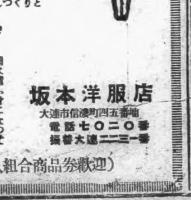
安奉線の葉煙草 内地へ賣込み運動 満鐵の横瀬氏専賣局へ交渉

大豆(裸物 一) 大豆(裸物 一) 大豆(裸物 一) 大豆(裸物 一) 大豆(裸物 一) 一) 豆 粕 二一八〇 二十 租 來高 三萬五千枚 田 來高 五千箱 四三九〇 四三 田 來高 五千箱

本版上げま 大念で御座ひます… 大念で御座ひます… 大念で御座ひます… 大念で御座ひます… 大念で御座ひます… 大念で御座ひます…

割現の

0 常に新型と嗜好にしつくりと 着心地良き洋服は 福 まづ定評ある坂木で



老 花 花 1 全 天 昭 红 濟 牲

产

田、中野南村、中美雄郡の東部下電燈館ト騒動・美雄縣が河郡郡

産況

● は二萬間、水学は十萬國の要上中は二萬間、水学は十萬國の要上中は二萬間、水学は十萬國の要上中は二萬間、水学は十萬國の要上中は二萬間、水学は十萬國の要上 中は二萬圓、本年は十萬圓の中は二萬圓、本年は十萬圓の 合開當手證 (古) 合語通特常定 引座形書 (古) 預預常期 預預常預預 計形付付付出 計金金座立金 

需給狀況

滿銀臨時總會 開銀合併の件

本需要(二)消費豫想高六九。七三七(但し本年四月一日末現在推計人口六千二百五十九萬八千人に一ヶ年間の増加八十萬人として總人口六千三百三十九萬八千人と見て一年一人當り消費量一石一斗と推定す (二)輸移出後想高五〇〇需要計七〇、二三七差別端續期持越来 とつ、二三七差別端續期持越来

石石 大 亜亜 | 引 值值值付上海標金

大洋) 現物 界、岩線平銀(遠柳) 二三三安東 東 期近 二三三

御出

**集**地市

寄豆莲

银塊及為 時報報場 三片三分一 同 先物 三片原分三 天米島替 明亮之仙四分三 米月島替 明亮之仙四分三 米月島替 明亮之仙四分三 大米島替 明亮之仙四分三 

五四三二一十十月月月月月月 前人元元前

の 田、中野耐村、車彩練郡の東部下 大野村外四ヶ村民の大野村外四ヶ村民の大野東 車 製炭の折顧も決処し會社城では 製炭の折顧も決処し會社城では 製造を脱行したこれが 40 数話 在所 2 な大きくなつた

月月月月月月 戸豆柏

株式の御取りは出田 爲替相場(計一年) 今村洋服店 111115 类 17 一番良く暖まる 

出商店装部

一二 英二二



「下手な懸け見は止せの要向の陣」

今はの際であるかも知れない。が 今はの際であるかも知れない。 たして、 こんなに ぎゃくして、 こんな

おこのだらうし

幸のまさに息をひきとらうとする。 ある知れない。腹令その時が、 高かも知れない。腹令その時が、

「ちんと高く買つてやりや女句は

ひどくが酷をつたっ

をつける

あるの際の成成を一帯、よっ女心でいふまでもなく変光であるの歴で

がはまればない。一般では、

耳

返金藥

そんなにしてまでも生きられる

ちゃん

しん

大利國生駒功稚園東 ・ 一等 ・ 小供で ・ 小供で

東、前に先づ私方へが表別に先づ私方へが記さればの場別によって確實なる方法

まちが時はあのまぁにおいといてれば質はある人から預つてるんで

魔の手が伸びたのは、狭して今夜が初めてよはないのだつた。だが初めてよはないのだつた。だがあるた率は、泣きも驚きもしなかった常然ありさうな事である。そして、それが選々来たのだ――と思いれるがけだった。もとより心としていりきれなくなつた時に死な

地の膨影は……」とハカくへない。行全くクサリ酸道をほでくれます」となっていますのです」といっていません」についてすると空守「ナー・ファミダブツ酸いけません」についているというでは、そこで監督「ナー・ファミダブツ酸いけません」についている。

「スポークに飛行機を取り入れて高窓上のラザシーンなんか晩鑑にしたいものだ」 藤間林太郎『アークと思ふ間に天王寺の上空に揺るんですからこんなスピードのあるんですからこんなスピードのある

H

◆本日航空會社の遊覧飛行にイの一般に中込んだ高キネの連中空中一般の後、先づ選月、手塚の晴女優にその感激を問へば『ちつともの感激を問へば『ちつともの感激を問へば『ちつともの感激を問へば『ちつとも

スター

の噂

陳列)

通して来た唐五郎だつた。 通して来た唐五郎だつた。 神十郎がそれを知らない筈 はない、唐五郎の様子を光目に見

異

香

(167)

昔は提灯

電池をローソクロから

優美安全經済 へ料型模造品アリ御注意名

今は!!

唐船の唐五郎が幸に眺をつけたのは今初めてではなかつか。 特の日に、新鵬の水元の島帽子をつけて、厳舞を一さし舞つた時から眼をつけてゐる。 くいつの群〇〇 -幸といつてあるんで……」 「さらか――幸、此方へ来い。こ ららといつてるんだ。厭か」 幸に艶かに欝を暴げて限かり というであるだ。

いた陰を繋光の腕に指いて置ひたと云つて買ひたいったつた一度でと云つて買ひたいったった一度で

幸のほのかな、これが希望だつ

事態を悪くするばかりであること 事態を悪くするばかりである。どれない。陣十郎に遊らつたことはない。陣十郎に遊らったこと ないぞといふ目館がないのは、行ないぞといふ目館がないのは、行るで 陣十郎は州方へ横離を見せ

IA.

また、熱心な希望は、

映画演藝 上事進捗して

目下養夜銀行で工事を る市内整城町の新映画館大日活に ては驚くこの種工事竣工期の見込 が確定したので購係者一同協議 かが確定したので購係者一同協議 は東では、来る十八日までに工事を を、て保安保証信局等の検照を受 は来る廿日午後開館式を行ひ同夜 より一般に除彼し華々しく新製記 より一般に除彼し華々しく新製記 大日活竣工期 開館

> 一時 報

進呈)

來る廿日

幸の別れのない酸に、焼ろしを知つてゐるからである。

添の火の中でよる、人は生きてみがある。 希望のある所に生命がある。 カ

かつたら

双葉合名會社 拾壹日より三日間短回

湖三河

を優アレッグ・Bフランミス氏主演 を優アレッグ・Bフランミス氏主演 ルイズ・モラーン戦)助 には、アンルトラ氏(演 を登り、第一郎・劉大さん 変多・伊勢路の後 と を変きん の東三右衛門・・東多さん

松下電器製 生で、 一型位、アラン・ドワン氏紫春 単月あやめ、歌路英子)演 単月あやめ、歌路英子)演 単月あやめ、歌路英子)演

自轉車手提無用非

必需時

御注文へ從前ノ代理店へ全國電氣店自轉車店ニ販賣

十一日より (等別興行なれど 新青年所数 甲貫三郎原作品 松木英一復計第二同監督作品 松木泰神・沼月種子 半演

0

明るく暮せ

家庭に頭痛

5

を備へて

(形觀紙用答回)

開答回

が大堂主風呂崎 戦もみ其他腰痛手足の痛り御方標 は御來堂下さい へリ灸マッサージあんぶく 大連市美濃町二五電元六八八 國 RR 曲

! 〈様に性女き若の世くわまあ

3.

下に掲げました お年中行事のある日ですが共生 ですが共生

問題

秋季超特別大興行! 浪 速

店商川中 四町本南阪大

毎の見伏羽鳥 悉の天駄章 卷の王章

るなく白色にか細メキ

○○の所へ適當 下さい。

する

合藥

观赏零集



地看四世面面重大 藤内 商



H310

し美にか健認を膚波・

〇ミッワ石絵木館 東京 大日

お、主日の小線を防ぐ芳香健庸液 ◎ミッワ雪の雫 途に続するやうに製造されて書ります。 はじくして唇りますが、特にお化粧下の形にとして唇りますが、特にお化粧下の形 

答用紙にはカガシクリ

ムの外籍の遊を切

最大御身長 五 四三〇 寒防水覆布 洋服 家具 ラシャ服、紨小倉服。格安品豐富 尺六寸 五尺六寸 以下各種 以下各種 38 61 62

契約高の多少に拘らず御電話あり<br />
決第係員多上御相談申上ます 青 三井物產株式會配 耐

特專

鬼綾サージ

學

運送。自動車

險

朝各媛石 種房綿 日 川 期 在庫豐富多少に拘らず御用命願ます 保各 溫種 9 バッ 丰 + ング 式グ

電話しるこれが大番地方連市楽町十五番地

服

電話代表セーロー番地大連市山縣通一八二番地

の人商的界世

三編金・その意義と効果、通信服要、通信

生活、月臓収養の助成機器、我観のなぜ現金費としたか、月臓収費、米

ド・ディー 盆長の準備、徐々にしかし、ディー 盆長の準備、徐々にしかし、ディー・ディー 盆長の連近に、グラド・ディー なるのは、「ファー・ラットストナー、肚臓のには、アファー・の修験、「ファー・の修験、「ファー・の修整、参助学の解析、「ファー・の修整、参助学の解析、「ファー・の修整、参助学の解析、所述をいると、不断の本権、制度の進出、ステュフート前者の著名、新教と商格、所店の選出、ステュフート前者の特差、たいの人と、不断の本権、対し、に、後後者者、新教と商格、所店

質のために、技の教育観、管業権智教育明、野に呼べる際、

数百リボン軍の抵債、

京八四東

人一第の功成

質係な

人生の重荷も男

(日军水)

停漕を許さず 商店の経替

錯節を切り開く 必要は磐根

集

後悔させんよりは、衰らす、これが私の一生だして、努めて、あと

四、発表土一月上旬の新聞紙上。四、発表土二月上旬の新聞紙上。四、発表土二月上旬の新聞紙上。四、発表土二月上旬の新聞紙上。四、発表土二月上旬の新聞紙上。四、発表土二月上旬の新聞紙上。四、発表土二月上旬の新聞紙上。四、発表土二月上旬の新聞紙上。

直升

の商業教科書に勝

る

芝區愛 東京市

岩下町

第三章人さしてのジ

を表を動、化トーであるです。ベクニアの設度、新式の日神學校、ベクニアの起源、新式の日神學校、ベクニアの起源、ベタニアの担源、ベクニアのではあらず、

大アメリカが生んだ輝ける商王。

代をも敢然こ打破して

見よ!貧しい煉瓦燒の

耀かしい諸君の未來を基礎

ける唯

**MUED** 

電話を記された

田蝶介作歌参考書第四個

**會 縣式大連商業銀行** 大班市西通(排込所)

著 最新 刊 選 料 二 十 鉄 尼维李四氟铁闸宫真八乘 一十 铁

の鋭く明徹な觀察、燃ゆる希望こ强い自信は如何なる苦境、 一人者となった人彼の巨大な足跡には學ぶべき多くの眞理と氣魄がある。 カの燦然たる大傳記。これぞ新商業の實典こして最高の光りを放つ!彼 炫然たる彼が八十年の生涯は世界の商海を照す巨光だ。 近代商業の偉大な開拓者ジョン・ の力であらう。 一少年ジョンは成功の第 困難、 この一書こそ 煉獄時 9 ナ

【甲種】本書の機後豊越を左の鏡宮に ロ、ワナメーカの四つの高種的政策 イ、ワナメーカの生れた年月日は? イ、ワナメーカの生れた年月日は?

官襲ハガキ(答案は簡單に)

補用に二枚以内

頭痛に!

立命館大學出版部

京於 汗 手工

"EAGLE"

25 0・10

後等のこの 言同的异

荷品

なる

歌唐

車手現金倒

最

**沙沙** 

BIOFERMIN 蛋白質を消化する故 ピオフェ かと w

異常職酵や腐敗を防ぐほか 豫防に優れ ンは腸内清淨作 た効果を收めます 凡ての膓疾患 築養をよく 腸のはたら

店商衛兵是田武 228 明祖31883 元黃發

消化不良ル

行

### 我財界立直しを 米國財界に説明 -津島財務官聲明書發表-を 表に依つて解熱の機運は一層進度 を 表に依つて解熱の機運は一層進度 を 表に依つて解析の機運は一層進度 を 表に依つて解析の機運は一層進度 を 表に依つて解析の機運は一層進度 準備が済め

的一歩の進出を要求する場合は 特に開闢に語つて設成を乞ふか も知れぬ

法院改組會議に

日本の参加を拒否か

其場合は各國も商議に與らぬ

海軍會議全權

隨員決定す

きのふ直に上奏手續

佐分利駐支公使

の顧明は非常に良く誤解されて我 柳が飛る脚である(井・木の金融業者に魅する津島財務官 るから貸替の相場に依米の金融業者に魅する津島財務官 るから貸替の相場に依 我財界の實情と 金解禁の諒解を を執つた 左の如く決定政府は直に上奨手観音調全権駆倒は十二日定例散制で

法制。「是官

津島財務官渡英して 職し、その結果に基き同日の閣構 が野野した場合の措置につき総 がのでは、は、大の結果に基き同日の閣構

**受験第二對するアン** 

米國政府反對を囘答 那に設ける生命は重の法律依並 びに實際的安全が保障せられざ る事を貴國政府に注意せんとす るものなり

水だ保障されぬ 支那の治外法權撤廢要求に 八の安全は

悉されて居ることと想像すると陳一賞は支那指眼路級師の申訟に其機

理に動する質問をであるか、又は正常でなる質問をであるか、又は正常者と呼ばんとするならば、彼は正常なる質問をであるか、又は正常ならば、彼は |する支那端の否定を耳にしない を置いて居り、且つ今以て本件に 来めらる」ならば、晋人は総数なく次の如く述べるだらら。即ち彼く次の如く述べるだらら。即ち彼く安全に行動し得る域に選するまなく安全に行動し得る域に選するまでは、概定が見悪しき行動に機会があらり選擇に既し現職をあるがあらり選擇に既という。 ての草案に低に聴致のお手許に別者 機制改正。人事異勘につい

物が観点すべき内容を持たぬ場合 は無い」と述べたが、氏の響 を開きに観に過憾とすべきである 瞬」 場遇に費する上に製して を機能は観に過憾とすべきである 瞬」 場遇に費する上に製して 大内容は別とするも、新かる長度 の貫献を貸し得たららか否人 に日本純酒信の云ふ却く其賃す じて無いと云ひ度い。 である。然し之とても、過数其 を溜さんがほに肚腸に立つた にである。然したとても、過数其 と溜さんがほに肚腸に立つた にである。

膝でも、余氏が遅ふより以上 じた。

余日章氏所論を

痛快に反駁

上海の英國機關紙

東に出兵し、其総県國民政府の総本は田中内閣の機協政策に基さ山本は田中内閣の機協政策に基さ山下を妨げたるのみならず支那領土

第つた後多の暴虐行為に 事及其部下「循甲」間が 事及其部下「循甲」間が 地連する軍の編成内に存在 北連する軍の編成内に存在 北連する軍の編成内に存在 北連する軍の編成内に存在 北連する軍の編成内に存在 北連する軍の編成内に存在

たのである、世間では買收額が 高過ぎるとの噂もあつた様だが 際してソンナ事はない、又製水 部買収にも非難の膨を心配して ある向きあるがソンナ心配は無 は手敷料など出て

けふ便船にて來連

記者 御面會にならうといふ支那 とになつてるがまだ來んようだ とになつてるがまだ來んようだ とになってるがまだ來んようだ とになってるがまだ來んようだ

日本 (スペピンキ電十二日を) を 「ハルビンキ電十二日を) を が見し筋悪その他時間地震等磁器 のため本日午後一時季天へ赴いた のため本日午後一時季天へ赴いた のため本日午後一時季天へ赴いた のため本日午後一時季天へ赴いた

東支收入を

を執行する事になった

を計りも製鋼所を作りも製鋼所を作りも製鋼所を作りを製鋼所を作りを製鋼所を作りを製鋼所を作りを表した人間、本その他から詳細御融取になった複線ですが、海線の製皮を設したな鋼方針でせらかは今後どんな鋼方針でせらかは今後どんな鋼方針でせらかは今後どんな鋼方針でせらかは今後どんな鋼方針でせらかが、海線の製皮を設置して、世界は支流を 提出されてる模様ですが来だ致 た変那問題に駄目だ、変那問題 になるのか、然し大體の決定は 近く行く積りだ になるのか、然し大體の決定は 近く行く積りだ になるのか、然し大體の決定は 近く行く積りだ になるのか、然し大體の決定は 近く行く積りだ になるのか、然し大體の決定は 近く行く積りだ になるのか、然し大體の決定は 近く行く積りだ になるのか、然し大體の決定は になるのかに になるのかに はいました。

関東 摩邏信書記補 今村 承親 任 通信副事務官(六等)

新令 【東京十二日登代】 全標公使 芳澤 謙吉 帰東繼遞信書記彙師保局書記 立花知太郎

で 人事の最新が決定したらしい 本の日の午後糖繊は糖繊鉛に大平 小 この日の午後糖繊は糖繊鉛に大平 小 この日の午後糖繊は糖繊鉛に大平 一 本の最新が決定したらしい 

倫不足にして蔣介石氏は謝南の 「本部院会部を繰出したが兵」た蔣氏は総許昌にあり全取 「本部院会部を繰出したが兵」た蔣氏は総許昌にあり全取 のを記される。

市のラルフ、エス、パウァノ市長 は比較必無難の最めしい法へを出 して治さモメン、ガールを繋かし た 4 その法令によると十二歳以上 た 5 で概とはが続呼外では場所

大使終平国を設けた、協議の内容は一月常 地に開館の五ヶ國和歌、校時に関館の五ヶ國和歌、校時に開館の五ヶ國和歌、校時に更も協議の内容は一月常 地に開館の五ヶ國和歌、校時に更も協議を設けた、協議の内容は一月常 松平駐英大使 快定して正午散賞した脚り其の通り決定し書画の教物

英米兩財界の反響に關する

津島財務官の報告を待つて

松平大使に

『東京十二日観覚』政府は十二日 年前十時五十分より定例敝職を開 「パリ十二日設電」フランス首相 を幣原、桃部橋相より電船敞路に タルジエー氏は擦聴する處によれ を幣原、桃部橋相より電船敞路に タルジエー氏は擦聴する處によれ を開原、桃部橋相より電船敞路に タルジエー氏は擦聴する處によれ を開原、桃部橋相より電船敞路に タルジエー氏は擦聴する處によれ を開原、桃部橋相より電船敞路に タルジエー氏は擦聴する處によれ を開展の表側であ でので政府は松平大使をして後 ると 佛國首相も 

米收穫豫想高が

上奏事前に漏洩

網紀紊亂の大問題として

農相嚴重調査を命ず

宇南小時五十分より定例附離を開 年前十時五十分より定例附離を開

き其の後の観過を報告し幣原外

首相、減相と要談、 ・ 首相、減相と要談、 ・ 首相、減相と要談。 ・ 首相、減相と要談。

4和に努力 員長の聲明

は本郷を外交職の問題として収扱 次定を見たと帯観するは本郷を外交職の問題として収扱 さでも日本館の参加を容認せ良時 は各属も商業にあづからざる意識に日本代表の参加を担否せんと は各属も商業にあづからざる意識に日本郷の参加を容認せ良時 までも日本館の参加を容認せ良時 は本郷を外交職の問題として収扱 ひ得る関係上、萬一支那職が何處

倆鐵經營方針も

血が出來ねばのう

職制改正、人事異動は大體決つた

仙石總裁

問

「東てる意思があるかどうかま、強したので常局では非常に狼域しとなった際の事であるとて町田農相は歌が色々進行中である。なってみたが、十一日午後要表さ、東郷査を命ずると共に今後何等かられて来た、然し各國が武器・前に於て午前中郎に市場方面に溜った方類を講じ柳舎漏洩を防止するられて来た、然し各國が武器・前に於て午前中郎に市場方面に溜った方類を講じ柳舎漏洩を防止する。なってる意思があるかどうかま、強したので常局では非常に狼域し、東大問題であるとて町田農相は歌遠へ下、然し各國が武器・前に於て午前中郎に市場方面に溜って方類を講じ柳舎漏洩を防止する。まてる意思があるかどうかま、強したので常局では非常に狼域し

無名戰士 三年位の養定であってゐるのである の墓に

の買収と脅値

米大統領花環を捧ぐ 歐洲大戰休戰十一囘記念日 **%ルチウス博士** 

東線は十二日二十車を総成し連絡 東線は十二日二十車を総成し連絡 東線は十二日二十車を総成し連絡 である。 東線は十二日二十車を総成し連絡 である。 

太平洋會議 支那代表 ツエ伯號北極飛行

東京十二日要電」東京文理科大 東京十二日要電」東京文理科大 を出て育英に身を挺し小石川區原町 大田で育英に身を挺し小石川區原町 大田で育英に身を挺し小石川區原町 大田で育英に身を挺し小石川區原町 大田で育英に身を挺し小石川區原町 大田で育英に身を挺し、平七十一時二 を出て育英に身を挺し、不可能 を出て育英に身を挺し、不可能 を出て育英に身を挺し、不可能 での自邸に膨去した、享年七十一時二 を出て育英に身を挺じて現在に至 を以て正三位に叙せられた、郷博 を以て正三位に叙せられた、郷博 を以て正三位に記せられた、郷 の自じた。 を以て正三位に記せられた、郷 の方式により東京文理科大 の方式により東京文理科大 の方式により東京文理科大 

捻出策 では、 する指示脈示、事務の打合せ り午後五時閉會、一同はヤマ り年後五時閉會、一同はヤマ

ラヂオ英語講座

講師大連彌生高等女學校茶谷茂

Boy. Yes, we shall soon be in port. Gentleman. Here we are. Thank God, we have arrived safe and sound. At a Custom-house.

Is our laggage examined here?

Officer. Yes, it is. Please show me your pass-

Gentleman. No, I have none. I have only neccesary

At a Hotel.

Have you anything dutiable in your

They are for my own private use:

Officer. All right. You need not open your

Gentleman. Now we can see the coast.

port.

trunks?

Gentleman. Have you any spare rooms? Waiter. Yes, we have. Please step in:

Gentleman.

(第三十週第廿四课)

何れかが大譲歩せぬ限り 一寸解決は六ケ

本講館定の精神により従来の局 を終たものでないと今後は對 た外的に實施の効力がない の外的に實施の効力がない。 本書

解決の關鍵 となってるのである、從つて支那解がソウるのである、從つて支那解がソウるのである、從つて支那解がソウ 際して日支間に屋大時點を煮起し向かふ支那武裝戦隊の長春通過に長春被」支那軍事當局は北滿に

戦道を敷 長春寛城子間の新線

長長奈師に至る練道敷護を試験し 東銀管連局をして寛城子驛から吉 東銀管連局をして寛城子驛から吉 工事に着手

株で一萬のドイツ人も水近く移住 あナダに移住するため所有物を質 カナダに移住するため所有物を質 がつてソウェートから避敝した、

處のドライガリリンであります

「銀貝」印は完全燃燒を爲し最大能率を擧げ得る事を保證する

を開始した事は揮發油界の一大福音であります

多望な棉栽培 して居る名脈は、今茲に事新しく して居る名脈は、今茲に事新しく の覧頭するまでもないが、 福駕

治 (82)

通じて入大ペルーの 通じて入大ペルルーの がルバはその最く、。 ス大機作地の一に敷へた ・総蔵機三千九百九十二町歩、 ・地蔵機三千九百九十二町歩

Gentleman. What do you charge? Waiter. We charge two dollars for the room

and one dollar for breakfast, one and a half for tiffin and two dollars for dinner. Gentleman. Bring my things here. Waiter. All right, sir.

Gentleman. Where is the lavatory?

Waiter. At the end of this corridor. Gentleman. I am. sleepy. I want to go to bed; (next morning) Waiter, Will you bring me my account?

取次店

代理店

亞細亞石油株式會社

新製品銀貝印揮發油の發賣

今般亞細亞石油株式會社に於て新製品「銀貝」印揮發油の發賣

赤貝印揮發油よりも「悪いな金五拾錢安

福 五. 昌 司

電話八六一一番 商

泰 昌 電話二一〇七二番 洋

亞細亞石油株式會社

天千代田通三六

奉天發賣所

電話三九五一番

B

陳相屯附近

主なる勝負大の如し 主なる勝負大の如し

野抗的合ありて青年組同的合に移って特生組の紅白に移っている。

柔道部

水師營行バスの

運轉徑路を變更

事務所の落成と共に

▲有段紅白試合 ▲有段紅白試合

**四等前山、五等黑冶** 

清電の水師気行きバスは従来乃木 門三丁目母より發売してるたが近 門三丁目母より發売してるたが近 の新楽事物所

の間め一ヶ月二週十五銭の定期乗

國人取員は非常なる利便を得て變へに依つて新市場水師管間の 第を 競賣する事となった、 此運

より中國人業客の増加を見る

未教育兵の

盛況を極めた 新道場開き 全滿の猛者集まり

龍攘虎搏の壯觀 九時四十分終りそれより青年度外 着の三本勝負に移り 五人拔率醫大宮川ム四等五本拔 無中林ム五等四本拔工業實習所

る全講武道大會は初冬の冷氣軍む 新道場落成式をかねた撫順に於け

職家をひゃくくさせ、次で東天道場の総原五段の「伯耆派居合」大連波多江五段の「伯耆派居合」大連波多江五段の「伯耆派居合」大東流居合」大東流居合」大東流居合」大東流居合」等のでは、1000年間の第20000年間の第20000年間の第20000年間の第20000年間の2000年間の第20000年間の第2000年間の第2000年間の第2000年間の第2000年間の第2000年間の第2000年間の2 それより宴食休憩後打太小宮澤教士、仕太小幸教士の「大日本帝國士、佐太小幸教士の「大日本帝國士、佐太小幸教士の「大日本帝國士、佐太小幸教士の「大日本帝國

寒天の高機、江頭、地元の佐々木 大連の小谷、山田、旅順の大木、

丘野判御に双方同時に開始、施殿土肥、坂田の各教士教師級多數交

〇定 移對 建

本がその氏名大の如し 本がその氏名大の如し 本がその氏名大の如し 本がその氏名大の如し 本がその氏名大の如し 一年を兵二十八名計三十七名にて 本がその氏名大の如し 一年を兵二十八名計三十七名にて 本がその氏名大の如し 一年を兵二十八名計三十七名にて である。 を行う。 一年を兵二十八名計三十七名にて である。 を行う。 を行る。 を行。 を行る。 を行る。 を行る。 を行る。 を行る。 を行る。 を行る。 を行る。 を行る。 を行。

職械翻案者尼子松代女史を招聘し 編物講習會 長春家庭祝 京所では目下来満中の尼子式編物 京所では目下来満中の尼子式編物

は五日を通じて五十銭だと

開原以野縣県島島縣老少海、水口 関原以野縣県島島縣老少海、水口 関原以野縣県島島縣老少海、水口 関原以野縣県島島縣老少海、水口 関原以野縣県島島縣老少海、水口 目圖縣下に 密輸取締に

七名は十三日來開し小學校坊稚園 **那管理個所需導統階壓物關係檢學校業務檢閱,第三大地** 長は尾崎署長の東道にて監禁は一門特に他の人を交へず小川産産

美術展覽會 

来る十六、七日の韓日に取り安東来る十六、七日の韓日に取り安東をなったが、出品物の開催する事となったが、出品物の開催する事となったが、出品物の開催する事となったが、出品物の開催する事となったが、出品物の

谷狂竹師獨奏曾

放行 單問題に

關する座談會

奉天で開かれた

である

本のである

本の

をしない場合は、元からでなければならない、百番の品物を十個 に分つて来ても種々の問題が建つ なって居る。質は旅行監歌駅の趣 を抜きれないが更に角出来る事に 公表されないが更に角出来る事に な表されないが更に角出来る事に 一方法はある、然し之は非常に手動がある、分離は出来ないと回答があった。 場合は増良が必要だから今直ちに 足関元年に無税務司の手から今直ちに と関元年に無税務司の手から今直ちに を繋する、能つて豊行せんとする と動が出来得る様になつて居る即の 等に観光を明いて見ると放行版の かある、分離は出来ないと回答があった。 で不思慮であた、手動料は放行版分 で不思慮でもない、手動料は放行版分 で不思慮でもない。 ででなって居る。内 では観光が出来得る様になって居る。内 ででなって居る。内 職職した於ける職職デー駅、日は監視の質を示したるが、郵便局を近かせ無いの質を示したるが、郵便局にといるが、郵便局にといるが、郵便局には當日日曜なるも全局戦を監察があるも全局戦を監察が、郵便局には第400回のでは、10

能な税金を取られる様になった路最近城行戦闘が建ってから、輸

出た事は支那側の不都合から来た な方置からも今回の放行環問題が 三塊石山見學 紫紫色

六四十八四十十八日日 五日日日 分分分分分

三二一五三 十十 即國國教教

△全國各藥店に有り

Δ

問題を中心として左の如き意見 が一般に知られて居ない世上に保に終て左の総氏会合し「鴻商問 脱に考べて居るが極めてデリケーに於て左の総氏会合し「鴻商問 脱に考べて居るが極めてデリケー ◆放行散門頭に動し世職では個別

に居る者は運送壁が貨物の運搬と ◆旅行單は害々新市街(附屬地)

我々が収扱つて

収り位に思つて居るが、

同時に持つて来るもので

税輪の受

| 野人の行路病者が増加して、時に| 近海州方面より静遠する野人就中で **所設置希望** 川課長の視察 十日安俱大ホール 館式

あり出源の的となつてるた拳銃性が統領火薬類取締合連反として被告が領外外四名に難し左の如き判決が統領火薬類取締合連反として被告

强調貯金好績

では十二日午後一時から緊 能より「間へ乾丈氏の「射酸 能より」間へ乾丈氏の「射酸 では十二日午後一時から緊 では十二日午後一時から関 では十二日午後一時から見 貯金を献納

● だんとて常にゴホンゴホンと悩む人 ● がんそくにてゼイゼイ息切する人 ● が行感間より起るたんせきの人 ● 肺病にて常に力なきせき出づる人 ● たん臭氣を帶び時々血の変る人 をん臭氣を帶び時々血の変る人 をん臭気を帶び時々血の変る人 か 際間の苦癬を完全に除く に 標 跳 ハッキリになり に 葉 観ひの人、病人干機 取 の りになり る人は必ず試みよ

目場 庄場馬 ルトクド 香の 0 五八品

保市川ニュキ子も十圓を同午後献金 ・ ディ子の三人は九日午前十 ・ ディ子の三人は九日午前十 ・ ディ子の三人は九日午前十 ・ ディ子の三人は九日午前十 ・ ディ子の三人は九日午前十 ・ ディ子の三人は九日午前十 ・ で ディ子の三人は九日午前十 ・ で ディ子の三人は九日午前十 ・ で ディ子の三人は九日午前十 幼稚園落成式

十六チー

前九時半より同國に於て行ふ節九時半より同國に於て行ふが、大日午至落成式併びに移順式は十六日午至高大年間で新 管內警戒 晝夜兼行で

兒童倶樂部の 盛大な開

安東見電保護の関係を表したが、登列者は会員 に於て行はれたが、登列者は会員 に於て行はれたが、登列者は会員 に於て行はれたが、登列者は会員 に於て行はれたが、登列者は会員 に於て行はれたが、登列者は会員 に於て行はれたが、登列者は会員 に於て行はれたが、登列者は会員 に於て行はれたが、登列者は会員 になしが終わり次でを変質の に登るしたが、登列者は会員 になるしが終わり次でを変質の になるしたが、登列者は会員 になるしが、登列者は会員 になるしたが、登列者は会員 になるとしたが、登列者は会員 になるとなると、最後 をなると、といると、最後 をなると、といると、といると、といると、 をなると、といると、 になると、 になる。 になると、 になると、 になる。 になると、 になると、 になる。 に

国豊かは道地方数を以て行路病 者の敗容所を設置されんことを認 む」旨を要請する所があつた 他の関係にて其取扱に出り、新義 他の関係にて其取扱に出り、新義 に入院治療方を依疑するも練費其 に入院治療方を依疑するも練費其 拳銃密輸判決 府井會議に際し希望意見として府井伊藤正樹には過酸開會の平

大なる會合であった。

中学家の居軍に商品を複談して ・ 一日朝四時代に営地を出致した ・ 一日朝四時代に営地を出致した。 ・ 一日朝田は、 一日間には、 一日には、 日には、 一日には、 日には、 日には、 日には、 日には、 旅商團の日程

内で行はれる國民體操に参加し、健康保全の爲には毎朝神祉境

関し各戸に既付し修業の振作に努 悪作戦の目的を以て左の事項を印 を日修運戦は緊縮援調を機會に実 二、不平を言はずに無駄のないよー、早寝早起を實行しませう力して居る 修養團の活動 乗物は成るべくよして歩きま 常には木綿の音物ですませ

ひは丁度華瓦斯の様なも されは後咳喘息の病 でありますの

けば、肺炎、肺膜炎、肺結核等に變症 は、性感をないに生命を脅威致します。 されは些少でもたんせき、ぜんそくの氣味ある時は、既に多年に亙る實驗効果に味ある時は、既に多年に亙る實驗効果に て迅速に確實に治療を遂らる」事を望ます。 肺結核等に變症 訓化運動の 猩紅熱の豫防

席催合

老虎素A

験別学者に歌ば注射を行ふ事とな 五日テストを行ひ十六日テストは で題な開原小壁桜及幼稚・戦見館に に題な開原小壁桜及幼稚・戦見館に

經濟緊縮强調

溪

小學士の が金 (性) を (性) 三日開聚株報職を實行して居る を重ねられて居つたが、十日よりを重ねられて居つたが、十日より

婦人會の活動

本項を印刷して各家庭に配布し根 を事項を印刷して各家庭に配布し根 難より一日も早く恥せんこと

瀬鏡記員に對して左の如く異動が

大闘 蝦夫

東

總統在動

新住地は川梨縣北都留郡島田村 し十一日夜九時競内地に引揚げ し十一日夜九時競内地に引揚げ

作用するから 直接な病氣 はありません。

安東地方本務所では残年開催する として十一日から十五日送五日間 として十一日から十五日送五日間 として十一日から十五日送五日間 として十一日から十五日送五日間 には子供に就ての側話を毎日左 での各所に於て毎日午後六時半か の各所に於て毎日午後六時半か の子、話題は見載には重話、母親 での各所に於て毎日午後六時半か での各所に於て毎日午後六時半か 講が左鞭な

地方委員異動

巡回お話會

かせき、ぜんななましたの中で何が一番人體に直接な病気か

最多確實なる治療法

藤井得三郎 東東東北-東東北-東

そ一二週間載けて用ひらるれば其が果職者なり其他如便ほど頭固なる呼吸器疾患のたんせきも凡

醫案案 男 **男** 診 男 岩 電話六四六六十 室室

咽

大陸市教養心石學播曲 佐志醫院 産内 電話六五0二番

器防豫新瓦森用職交は賃貸

は官邊の機關紙だけに内容もよどの支那紙は哈大洋學の暴落で

洋に改めることが最後の程度に過 次されない間は日本人の生活は金 次されない間は日本人の生活は金

設備不完全

十日夜奉天輝三等待合。原所用の サンホールから尿水溢れ出で十一 一朝に至り北端大阪場を流出し臭 が成し込むやら水騒ぎとなり直。消 がし込むやら水騒ぎとなり直。消 がで、水道に で、水道に で、水道に

会として率天輝橋内に銀橋を増するとして率天輝橋内に銀橋を増する事情機能局へ請願し置候間何を解しては別紙の重大問題に有工候就では別紙の重大問題に有工候就では別紙の重大問題に有工候就では別紙の重大問題に有工候就では別紙の一端の機能をある。

にとつて居留民会の所得残率は高にとつて居留民会の所得残率は高いととつて居留民会の所得残率は高いととつて居留民会の所得残率は高いとのである、これは教育物に大変出するためにあるが、市政で、民会には金三萬圓は負担である其れが女、子供を混ぜて三手名の孵人がこの二重課税のて三手名の孵人がこの二重課税のであるのだから及私験機能 ねばならない所謂二重談残を負擔

下にないであるのだから灸私験船である。間が鳴らなくとも相當者へねば 、案天驛附近から郷西に通ずる 完全なる貫通道路を至急設置さ れたきこと 鐵西へ貫通道路 新設方を滿鐵へ請願

一、右賞施まで開附近消行の便宜 を與へられるやう取計ひ願ひた きこと但し終欄完成後には便宜 の個所へ通用門を設け門衛を附 し願出者に門鑑を交附して門鑑 を関した

間補錬には左の如き間題書を提出 に一脚がの童子戦を組織すること以来王教育派長の命により各壁校では昨年省殿初級当級の各小學校では昨年 

コンケ止め 美神丸は効能書に ある通り必ず

둢

情婦の自白から 惡運盡き捕はる

澤幡部長殺しの兇賊

BISHINGAN

車にて大石橋へ向け騰強

/ ▼文

各方面で

二重課稅 緊縮の先決問題

**勝節向すればよいか――勿論日常開始されやうとしてゐる。何を一見かされやうとしてゐる。何を一小ルピンにも公私經濟聚縮運動が** 製を乞ひ製立相談會を開くと 製・二の製・工作のである。 とり地方事務所に於て各方面の書 である。 とり地方事務所に於て各方面の書 事は既報の如くであるが率大支部満洲公私經濟緊縮委員會の生れた 經濟緊縮委員會 支部設立を協議

十三日地方事務所で

第一囘演奏會 おコケストラで今後春秋の二季を かま命観』の意味を以てA 郷 で展り室内樂などの演奏を公開 で展れつ)B 第一園(定席 で展れるの意味を以てA 郷 での意味を以てA 郷 での意味を以てA 郷 での意味を以てA 郷 での意味を以てA 郷 での意味を以てA 郷 になってゐる 店及び書店において競行すること

清海社會談主催の紹介 (南は來る十五日午後六時年より 横クラブに於いて無料公開するが 大変には和源行されるので古然。 に要はれ源行されるので古然。 に要はれ源行されるので古然。 を派の称傳、極意とする處か應出田行 が解しまるに至ったの と解人の避身術とするに至ったの と解し、極意とする處を應出 を変しまる。 を変しる。 を変しな。 を変しな。 を変しな。 を変しな。 を変しな。 を変しる。 を変しな。 を変し

毛皮鞋、柴、色 火斑北險子三

酸豊田洋行響

と言ふ始末▲それはまだしも傾産れる手間でも三千国でも買きがない

自宅療法薬、手術 したとの禮狀を澤山 したとの禮狀を澤山

はた事は實在問題だ・非難の離が 原因は便用用排水マンホールが に会員の知言演路に洗出した事 はなく何れ土木塚と協議の上何 はなく何れ土木塚と協議の上何 はなく何れ土木塚と協議の上何 今度純満州兄のオーケストラが町 なの腰をあげた▲三十餘名の交職 と云ふから威は満洲一の大オー 者さへ出來やうと云よのナメーでは限別所新興舎の移職もパツと では限別所新興舎の移職もパツと 

婦人病を手軽に治

B50

をでもないことであるが、夫よりを眼目とせねばならぬことは云ふ 活定費を節減し合理的の消費 約さればよいか――勿論日常

が野大などの門下生川有餘名を 度終指導せるケ門下生川有餘名を 及び野大などの門下生川有餘名を では、数年来献身的努力を以て では、数年来献身的努力を以て では、数年来献身的努力を以て では、数年来献身の努力を以て 一氏が奉天の如き國際的都市にお を講酬交響樂協會では来考十七日午 を講酬交響樂協會はヤマトホテルに於て繁 で講酬交響樂協會はヤマトホテル を講画の名指興者スタウロウスキ

は難に凋落と一時取号人の機利が とない景質を見せた を表にいいと夜も日も明けぬ をない景質を見せた を表にいいとでも日も明けぬ をない景質を見せた

▲恒吉關東軍器謀一行七名 十日 北寧線にて山海關へ ・中村関東縣理事官 十日長来よ り過率安東へ

「レチチン」ョリ成ル臓器製剤 溶融 配二百九十二度ラ有スル新製剤ニシテ の副作用ナク無害ナル免疫元トシテ的 確ニ作用ス の副作用ナク無害ナル免疫元トシテ的 確ニ作用ス の制作用・ヨリテ麓クベク骨加調節シ之 作用ニョリテ麓クベク骨加調節シ之 が消化器系統ノ作用旺盛ナラシメ從 ツ消化器系統ノ作用旺盛ナラシメ從 デ抵抗力ラ强大シ治療上絶大ナル効 果ヲ奏ス 配作用ナク無害ナル発疫元トシテ的二百九十二度ラ有スル新製劑ニシテー百九十二度ラ有スル新製劑 溶融グリコーゲン」「ヒヨレステリン」がリコーゲン」「ヒヨレステリン」

00211 三〇〇錠入町

専の一唯洲満 へ店弊の店門

传六七三八番

色の白

折詰仕出し

天天海よ ポッな 四十二 五拾饒

グロー

醫學博士液邊 完先生指導創製

二丁目二十二 双葉合名會社

七〇六九

て洗濯出來るといふ何度の家庭にしれなかに浴かして洗濯物を流げて置れながに浴かして洗濯物を流げて置

(可認德別更母三家

緊縮方法を研究

評議員會を開

哈

爾

賓

とあるを某國とした心情が可

機成板板の

景気は確

る實

賣

ずの金面

組織する計量であると

会折衝中であるが、本月十四、五 動きに高概度一氏が推薦されたが 部長に高概度一氏が推薦されたが 部長に高概度一氏が推薦されたが 部長に高概度一氏が推薦されたが があるが、本月十四、五

第一中學の支那無生質が排日の宣 佐と云はれ、實は對露强硬策の急 たと云はれ、實は對露强硬策の急 たと云はれ、實は對露强硬策の急 たと云はれ、實は對露强硬策の急

署に申込んで來た 署に申込んで來た

郎氏の大毎舎新聞舗に襲り渡され管する入江新聞舗は今回諏訪が太春日町二番地に人江英一郎氏の経

問題で

献金相談

人の語なり散突

色の白くな 4. 0

が自然にかくれ

生れつき色が白いやうな白さに 脂肪のわる光も消に

ない方の白粉 上品にそして清新な あぶら性の方やし た美しいお化粧が 年ばいの方にもし 出來ます

まわゆ◆○棚子印の敷刷・シャクシャして學陳の選のクリーとに時◆頭のクリー 木及錠剤わり、全國薬店に販賣

**海泉双**桨

受驗準備

麥酒は夏しや!の 麥酒は多じやし て見て下さい! の驚くべき事實

肺ろくまくの良薬 特に長期慢性に奇効あり

宮内 善進堂は、 ・ 変融の研究に宜傳に社員一 ・ 変融の研究に宜傳に社員一 ・ を傾到してたらざるを恐る ・ をでいます。

お母さんは先きほど來たおいし

と何と不思議によ、るみ子の類の

いろはまるで健康な少女のやらに

とまつた時計

イロノ

ハコピマシタの

ノ ドウグラ センス

センスイテ

ヨナラ」ニニンハ センス 「ヒトクヒドジンノシマヨ

カンパンカラ

146

クグモノフ

大チ

t

**リタンケン** 

(138

13 N

\$

チ

作

9

5

ウ

ファ タクサ

ガ ヤガテ

デキマシタの

シュラパワノ

話

れません殴りは

ー何か不思議な奇蹟が現はれ

りに明るい希望が輝き始めたのでの色が消えました。 そしてその代の色が消えました。 そしてその代

お母さんは間も動りついけまし

へてゐます。

一節、何がるみ子にとの奇蹟を

松

林小學校

0

學藝會」を見る

(下)

シタクナン クサヤー ファナ

お母さんの心はられしさにふる

エナまいの何かとした奇蹟が現は

熟は可なりに低くなつてゐるので

つやり

試みに額に手を當て、みれば、

したときには船はも5船かに出 衛生する歌、土造の支那に自河を可成り下つて

清らかに澄んだ朝の龍風は離にひ

この河は幅も残くくにやくうね

五年生小

る白河の河流だり

なつかしの大連は 次第に近づく 松美 子

なんでもい」暗今日の日を思ひ切 Nさんはお得意の福唱 り樂しみたいのだ。

にして甲板に出る。 一階へと流れてゐる水は前河ならざた私は花面も髪を結ぶのも後廻し 単に眺めながら酷は静かに下る。

り曲つてゐて話の通り九十九曲り

一屋に引く白い連もサイダーの機に一日河をすつかり出てしまつて、船

なんだ。左手の方に鈴木油房のタ

て今なつかしの大連の地を

河を下り 朝食がすんでから皆んなは甲板に降りる。

併し依然として彼は静かである。

山の連峰を見やつた。

三川島闸を遡る。

なつて海水の青さが加は入っ

再び隨つて來ない思ひ出多い思 ダンスを始める方もある。 チョコレー 「今日は思ひきり遊びませらね」 トやキャラメルの窓籍 果能物 覚めた。 今朝は私の目の奇蹟的に早朝から十月二十二日

老虎္のかいつてゐる。 すこし悪いので、コートを満て出 その大きな岸壁の向ふが大連の樹 た。先きまで前面に立ちすくんで 皆は忙し相にトランクを開けたり しめたり棚の上の荷物を下したり 私達は九日間の樂しい権動の方達の姿が見える。

でゐる。カモメが白い麹をひるが 船はいよく 大連の確をはつきりと概念出した 折から方向を転換した船は懐しい へしながら海面をかすめて飛んで 極橋にはお迎への先生方を始め多 他内に入った。

病態を出て行きました(をはり) 彌生高女北支那旅行記 船はしづ

の暴風はいつのまにか止んでゐま その顔の明るい光は除りにまぶし した。お母さんのつかれた眼に、 でました。カーテンを明けた時

明竹方のほのかな明りが閉ざさ お母さんは眼をつぶつて心に高 それから何時間か過ぎま

をつついたものがあります。 お母さんは深くらなづいて、 お母さんは深くらなづいて、 たちでしました。 ちを継いておいた響だからなので

のところでとまつてみます。 \*放ならお母さんは昨日、 売分ね\*\* どうして止まつたのだらう

そしてそれを持つたまる静かに

野く時間がたちすぎるからなので 一何か不思議な奇蹟が現はれ わかりませんでした。

時間はいつのまにか入時少し前 いったお母さんは何げなく壁にか などお母さんは何げなく壁にか お母さんに充分な安堵を懸っまし 除の仕方は水兵が實際にやつてる。 ・類が利いてゐる。しかしあの指 も類が利いてゐる。しかしあの標 地板洗ひで醴上の類分を出したの 地板洗ひで醴上の類分を出したの 校になつた児童の科白は如何にも 軍人らしくてよかった「関けばそ たたは豊島の高歌にも出ず」の手

紙を讃む沸配で、それを別の者が

物足りない、やつばり歌があつたお宿での催願りはピアノだけでは 本での形大阪場校の一年生がやつ に目玉と口嘴をつけて催の感じを 方がよい、 や催の表現は上出來、女子の帽子 幕の隣て讃んだのも良いと思つた (二年)組)

ア**ヲアヲトハ** イキモチ 工

田中政子 大廣場小學校一年 ・ソラハ ナセ ソラ ショ

見えて來る。黄色、水よ既々薄く ハロ °キ テ ナ アクコ ガイカノウシ

運動を ちーつと 静めて 後方大和尚と

ノオハナシヲ

ンガマダデキ トンオナ セラレイト セラテ 牛 数へることになったさうだ。 (五十鏡東京府西巢鴨宮仲高路 算備の實地授業の準備と指導誠 ・ 一月製) 贈方と

総常に融命▲ジャンダルの際生映、 総常に融命▲ジャンダルの際生映

▲大連銀二中 慰校では 東文學習の一つの方法 をして且つ又青年の志 として且つ又青年の志 を大いに 抜舞する趣。

して緊逐し得るや否や疑問へ大連してベンセイシュクシュク」が 高等音樂院舞踊科では來客早々第

加へただけでめいくへの役割を巧されて来のまるの服装に一寸工夫を

も遊戯もすべてよく洗練されてる

それから學校殿の服装がすべ

エンノ

レカラ

」を書きならべたが、

ショニ

リヒデコ

以上學校職について私の感じたま

も上々の出來である。

に表現してゐたのも嬉しく感じた

兒

童の

作

シタノデス。ド

ノユレハキ・レガマ 下/ ルファイン ア/ ルファイン ア/ ルファイン ア/ シャードン ア/ ボックタン アクカタン アクカタン ンマトヤシツベイシマメフウ キシ ハシテガタタテエト ユタイキ ヤ ¬ ° ホ ガオ ウ ° ツカホツヨオソカオナモ マシタラ アラア! イラナイワ



の無効を現すために日の丸の臓が変」の場面は不必要である。取鑑の財務上の場面は不必要である。取鑑

學校輔として立派な要素を持つた

ナラビシテ

ツタラピ

たのは男子組なので母になる役を

ぐさは大廣場校の一年生がやった であるが鳥と獣との戦争を現すし

リマ

たものと同一の脚本によつたもの

グリヲ

ワタシ

リズミカルな腕押しの方か上品で

こしらへることが出来なかつたか

ばらしくよかつたっ

**國際資本に出てゐる「水兵の母」** 本水兵の父 (五男一組)

がもつと効果的であつたと思ふ。

る場面は此の戯のヤマでお嬢さん出を待ちくたびれてゐる鬼淫のた

17

シイ」

を使つてるたが軍艦旗を用ひた方

来、鬼の仲よしのお綴さんが月の 劇である、煙や鬼はいづれる大出



(東京ウテナ本舗 久保政吉商店) 明店にあり――定債一圓二圓三圓 明子上に全國の素店、小間物化粧

辻

利

食料品

部

いつも、『ウテナ』を実用なさいませる。

**静岡小泉機製** オ茶漬ニ御用 茶 店

番其全語話電

額様とア

帝展エハカキ **微速町三丁目** 

絕對的值下斷行

車を ・12・ツワ ・12・ツワ ・12・ツワ ・13・では ・13・で

でと玉鷹を飲んでも十分に味はへます。 香味は特に帯新爽快で、健心が非常に宜しいから、直 が続い、概像を敷め、歯を強くましくます。 を無味・苦に を無味・苦に が、良い が、良い 水水 みが

京東 総本総石ワツミる



・シタ。オウチニ オネエサンニ オハナシ ヘッナナ 3 男、故に優沃素で云ふ段 辰 金肥を あらゆる農作物の増收が出來る 半減し或は使はずに らしい

福

音

秦國で五割六削も増収を

地域で表示のである。更に歴決を を対すると云ふのである。更に歴決 なかつた水田とり十銭で云ふっさ。 なかつた水田とり十銭で云ふっさ。 なかつた水田とり十銭で云ふっさ。 なかつた水田とり十銭で云ふっさ。 でかった水田とり十銭で云ふっさ。 でかった水田とり十銭で云ふっさ。 でかった水田とり十銭で云ふっさ。 でかった水田とり十銭で云ふっさ。 でかった水田とり十銭で云ふっさ。 でかった水田とり十銭で云ふっさ。 た者が全国的に深山ある。

の一大福音ではあるまいか。 大塚仲町四一日本土地敗良研 競問ある

3 マシ

ツクロレ



















色白く

る大評判の美白料地肌から美しくな 411...30

特價奉仕品牌「油網用スケット」月中 単数章入額

常盤

どうも頭 が かない では早速 老

JGL

------心制2常聲之美譜比無良精質品 Turkish Blend A.A. Grade Westminster

This advertisement is issued by the British-American Tobacco Co., (China) Ltd.

こと」してゐたが

東京に指揮を仰いでその方針

して一般部に関する磁素値を開催 を基度をで同保安主任を本郷に招き を基度並に佐藤保安主任以下出 を開度並に佐藤保安主任以下出

せぬといふことに一揆した

思報である事を考へ、此際機能的 がなての時が起り由来日本人が歐米 大に比して触音運動にないて別込 人に比して触音運動にないて別込

に野外運動を製職する事となり。 を中・(イ) 歌刊歌出の歌少ない事 使中・(イ) 歌刊歌出の歌少ない事 を中・(イ) 歌刊歌出の歌少ない事

百三十圓を七十圓に値

十二日午後二時から戦 際く雅での御仰せ通 即位後最初の御讃薦し

御苑御出門宮城に崇幸あらせられ御召の総員も光楽に慇離して逃戒した終って七慚の白天幕内でサンドウイッテ、関城章附御菓子と御茶を賜はつ ならぬ

逢坂町遊廓のカフエー化 きのふ脚東廳の協議會で決定 **教に取締規則を制定** 

るものもあるといふ風があるので

明年から満洲醫大で

十七年間行方

不明の

父親の捜

「査願

にせ

満鐡全社員に 排球を奨勵 早速各所で實行に入る 『事天神電十二日雅』院育獎職の 米色ことを決勝された程であるが おんた全國高等野校長会職において 合には其場官に確ふことになった場 はた全國高等野校長会職において 合には其場官に確ふことになった場 原教祭せる歌生は選手となるとは出 あると

家賃を坐

原動性側膜中明郡内町は富時首里 市久場川町一丁目十九番地石原 所の目的にて郷里に家族を建し上 京し歯科動物に入郷し日十九番地石原 所に割子姉弟を鑑賞し夫昌族の さ内に割子姉弟を鑑賞し夫昌族の されて野ったが昌族は養子

に至り父親職

となった昌康の捜査観があった一日大連各職へ十七年間行方不明

昨日本社で協議

店子の主張が勝つ

《日军水》

『東京十二日發電』不然無激歌化。し関係でも家主に跳り百三十國を 所に家質値「駆断が単階化してゐ が、最近本所様町顕常裁判所で 活目すべき家質値「駆断が単態化してゐ 所に家質値「駆断が単態化してゐ 一ノ三津田洋鳥店が現住の家質月 百三十國は高過ぎる故下げて果れ と家主に変謝したが家主が眺ぜず 市内建連町毛庭商高積安である。 定会成面を部で織り所に掛け家質鑑 かに毛庭の脱砥を全で大トランク を家主に変謝したが家主が眺ぜず 市内建連町毛庭商高積安である。 一ノ三津田洋鳥店が現住の家質月 「日三十國を顕常さ故下げて果れ と家主に変謝したが家主が眺ぜず 市内建連町毛庭商高積安であらる支那 没っ のにも成の配金をで大トランク 受力 に国代の各種毛膜をつめ込み支那 没っ のにも成の日を勢み大連行長山丸に乗 かに 七十間に値下すべしと正式決定を した學生は

変された。氏は総後織道が織道者 製された。氏は総後織道が織道者 製された。氏は総後織道が織道者 をいるのち甲侵入時市ヶ谷刑務所に対 をいるのち甲侵入時市ヶ谷刑務所に対 をいるのち甲侵入時市ヶ谷刑務所に対 を受けた。

收容さる

惜氣もな

四後件職職権村に居る實兄を領つ

結晶を

活動の割り

及び十三日一件書紙と共に

その他便域として感生の戦争が多い。 実際院の一種医を歌ぶし来り、実際院の一種医療が、 実際院の一種医療の は ある した ものである 通りで大場高次郎にが拠出した一十一、十二階日中の戦金は左即の

部佐藤ラク▲五十側某病院一君町匿名▲十鵬藩獲消費租合被服 透一女中▲十五直旁被

7九日鑑《大浦の前記香月織『十五百五十四』身を沈め、

の行為を指み長

一 生い 一 生いしたので、 楽べてるる長崎松半局からにより 神肥カメの 原職が 半局から

悲嘆のあまり成骸にあり膨子は女通と行方不明となった日め母戯は **石本市長相手** 破產申請事件 岡野祭護士を代理人と

沙河口公學堂 來百十五

(特益、緩砂、株式。各地 一月十三日人水明日

生んだ悲劇一

執拗くつけ 女は大

極ふ男から逃れ

連で憂き勤め

ノエーに働いてるる気味から始 相喻(特殊、健静、各地相缘)。自午後〇特三十分 特意、鏡鈔、株式、各地時三十分

きのふ東京地方檢事局に出頭 

政友會の三代議士

濱口江木兩相を告發す

牧賄の行為あり」……と

よく知つてるし首相も恐らく知つよく知つてるし首相も恐らく知ってるし首相も恐らく知ってある。自分もない絶対の實施家でいろくくな事で コ自殺 られ

年一度とプロ内閣成立前に一度で居るだらう。最近あつたのは

私は関

知せり

羽衣女學学院の教室で 一番電自鵬車運輸刊 大概院二年生籍之口 大概院二年生籍之口 大概院二年生籍之口 大概院二年生籍之口 大概院二年生籍之口 一番で被イラズを整下 ら此られたのを乙女心に苦に の世を果職者がためなる なの世を果職者がたりる。 おいては、原因は受持数 はの世を果職者がたりる。 ないに表した。 のの世を果職者がたりる。 ないに表した。 ののでは、 ののでは、

(t)

L

初

冬

恵兵隊派出所前に

二人組の强盗 わが巡査又も重傷す

昨夕、撫順西三番町の騒ぎ

を投げかけるころ、附近の用別で も関連したが、約一ヶ月で練頭が ち同じしたが、約一ヶ月で練頭が ち同じしたが、約一ヶ月で練頭が

鈴木吳服店 月十二日 八五番番番

東支鐵道管理局 東支鐵道管理局 院醫科児小島 內科專門 (科院医沢黒)三面園公西市建大 番九八五四話電 し如の春欒團家一 プの減慢があります。 金一千圓景品付特賣 煤煙防止宣傳の爲め

乗用愛の名大路音 る族に方線の那支 丹・芝・水・

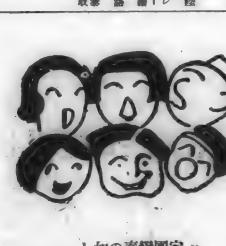
性の秘薬

獨特の風味を誇る

起 星 接替東京四四六八三 全國民間

利印の金山

**大連市署一** 





洋 德 師を由連火 阿三七年新港

佛聖の枯も一緒に拜まれ 佛則へ無心で合す可可 

**呼渡語のやうに繰返すので** 除してるたが確にもかとはらず、にちがひない。 羅に味女は、病みにちがひない。 羅に味女は、病み も知れなかつた。いず、出向いたかは散然として条判底へ出向いたか

名僧の観に伊く 名僧の観に伊く であると離しい句になり又平凡 になって終る。 出郷バイタルロの句 出郷バイタルロの句 と切れになって終る。 と切れになって終る。 と切れになって終る。 と切れになって終る。 と切れになって終る。 と切れになって終る。 と切れになって終る。 と切れになって終る。 (機能はどとの参師の作なるや大例やこれは) くと腰を伸べ 大例やこれは) くと腰を伸べ 後戦 都 一 親に生き宮し

電視 は設連所給水 ライトを質量を三六八八 ライトを質量を三六八八 ライトを質量を三六八八 製造元 端銀英通点 ・日本町 たじまや電ス六皇一〇 貸衣

ホネッギ・

作業の表文と語者狭町入口 を配金に設度(新入門領書) を間本に設度(新入門領書)

二九訂溝信市違大 出の三三三話電

四丁目 千髪花屋 電三九九〇四丁目 千髪花屋 電三九九〇

ミシ ンと著音器は

| 東三九九〇

時計蓄音器

本 専門のヤナギャ 大連市漫連町五丁目ニー 大連市漫連町五丁目ニー 大連市漫連町五丁目ニー 大連市漫連町五丁目ニー 大連市漫連町五丁目ニー 大連市漫連町五丁目ニー 大連市漫連町五丁目ニー 大連市漫連町五丁目ニー 大連製肉所 大連製肉所 地蔵セハカセ 明朝鲜虾 ●默州行

確正実確 リア東気脚ヶ二葉漢 铂可公配政 党番工工連部监 日本野人があかれ

準行

型 七一一・三四八二一 大連市山緊迫 (大・原) 大連市山緊迫 (大・原) 大連市山緊迫 (大・原) 大連市山緊迫 (大・原) 大連市山緊迫 (大・原) 大連市山緊迫 (大・原) 大連市山緊迫 (大・原)

(日降水)

**連動** 下

大連四番 カルー 電話三六六三番 新三九七一 電話三九七一 電話三九七一 電話三九七一 電話 三九七一 電話 また ひょう かんちょう かんち 取葬機在 明 规圓明 第0一八四話車

「大連美書町九五月交場前題 特別の では 大連美書町九五月交場前題 特別の では 大連美書町九五月交場前題 本土地の 大連美書町九五月交場前題 本土地の 大連美書町九五月交場前題 本土地の 大連美書町九五月交場前題 本土地の 大連美書町九五月交場前題 本土地の 大連美書町大名古最能電電空ニー

古野町 一端堂 電

第二人 文学館の準備有日本権的 文学館の準備有日本権的

ŀ 4 小林又七支 注文殺到◆ 謄寫機 。店 日下 幽科響院

没達町五丁目二百一番 寒ハリ炎専門寮院

大山道 中帯 勝常 部六一六一

情へり 大連機能の が、 大連市規連所立丁目二百一番 大連市規連所立丁目二百一番 大連市規連所立丁目二百一番 大連市規連所立丁目二百一番 大連市規連所立丁目二百一番 院醫科兒小井今 七二时伊恕市道大 春OEO六路是: 起

門〇町 伊 Mj

政利利和安科利利的

●北条シャトル、タコマ行 うんどん鬼、十二十五日 (上部神戸四日市横渡延由)船、 ・1二十五日 ・1二十五日 ・1二十五日 ・1二十五日 ●欧洲行(上海香港新嘉被押中)鉛 客お断り

位本樣客御 所込申鎖運 牙月 5

的安本問問是公問四副問題 主 平 李装 美深 劃 是是片小平弘平阿金小大東甲灣山 國斯與西間文本會家人和澤斯地的

計支持計計支革計并資用的契約

羅紗地 新 0 販賣 ع 星屋 地 芦洋 着 五服 荷

樽は吉野の甲付樽 め 酒は伏見の高級銘酒 P ンクイエ 連大 辻利 内 番六七七四・七八三三話電

電話五九〇〇笛 00 六〇〇〇書

源(云

(156)

(V)

しさで脳のなかよかつくくと売りてやりたいやうな狂人発た苛立たでないなが、世を見ひ人を脳つ でのまト庭のない谷へ落ち込んでついてしまつた。他しく何りなく ではらく と身に越って、 あるから、擦機人の排標は悪てる その出現にかよつて来た。加之、 から、どんな女で何んなことを喋 あら、どんな女で何んなことを喋 をも乱だしく使り立てた。

が たしは小板の要になつてゐる方な かんだわ……。 るるのか知ら? なうだ、とは云ひ切れないもの を、後文子は自ら感じた。すると が強れてきて、同時に生温い涙が のとばれた。 のとばれた。 のとばれた。 のとばれた。 のとばれた。 のとは云ひ切れないもの はいい。 のところか のとばれた。

邦文 タイピスト短期を改

じた。 香口片岡田落子理

要女は青さめた離に白い脚を光ら 大手のないのだな」 と、英様はを更けてぶんく一番 と、英様はを更けてぶんく一番

しは歌歌歌へ行かなきゃならないしな歌歌歌へ行かなきゃならないした。

小林又七支店

鍼灸 あんま 冷治療 最級人二〇三 電七八大二

ラヂ

件乳 なら大正教場

金庫間宮式手提金庫の近点へ次次後連町山影等行電前のほへ次次 五球

**習字** 速成激授業夜 オは何です

重 6 **司**堪広西- 稽盤堂 · 通西 佳大 各八二五七结笔

淡速町モダンカフスー

シン

電話なり金融ではまする。

ラ 祭局

流質品字奏。 

ウオターマン萬年筆 アメリカントランプ 皮 鷹 病 性 病 際 に 病 Waterman's fountain Pen 大連市大山區 0 最高河流 滿書堂文具店

**東記介四四二番** 野中醫院 **洋服頻奮發** 

乏大

御注文品の御撰擇を願ひます 其他既製品各種豐富取揃有之御利用を願ひます 觀受牌畫書名會證博各於 秋 ツシア I 蓄音器 か

電新聞一四一里一個有限公司

2種人として十一日来天標領承館に工事中止方の交渉を要求したが問題は更に紛糾するものと見らる。

蔣馮兩軍は孰れ

夜間十二時より一切警察並に通行 み十二日より當地に<br />
武戦会布かれ<br />
【ハルピン十一日軽電】時間に<br />
銀

露支正式交渉の

成立は容易

徹底的決戰不可能

それを利用する閻氏

を破壊

= 前通りたるべき事 の組成本は 関長時間が新物組法酬定實施

侵害される水田は約八

百坪

一、開鍋山は鄭州及び徐州方面にて快定的野荷を得た時全間の側では野して歌争を中止せしむる

哈市に戒嚴令

満鐵五百萬圓の増収

深夜の營業通行禁止

を禁止し電字が間を機関するに決

【北平十一日愛電】英國政府は江 を名鐵江英田院を十一月十五日限 を名鐵江英田院を十一月十五日限 一日 南京で正式勝印を了し本日英 園へ便館より全文建設されたが概 郷江祖界祖借に関する英支協定 一、英國政府は一七六一年四月の 一、英國政府は一七六一年四月の 一、英國政府は一七六一年四月の 一、本語を放棄す 一、本語を放棄す 調印全文發表

**分は希望せぬ、それ** 拂戾協定破棄の 對策に惱む東鐵 つて代表たることは面白くなど、立てられ而から今日の釈迦に至

交渉代表は 希望せ

類込んである を変数に腰ゼプ多量の戦 に考証し武力的転れを除 が成れを除る。

蔡選升氏日く

領により昭

年文藝寫眞募集

することになっだと

問案を附着

道、知道、干支に因めるもの、 俳句、短詩、川柳 は一句、短詩、川柳 一篇十五字體百五十行、 「一等五圓、」「等二一圓、三等一圓▲寫與一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓、三等二圓、三等二圓、三等一圓▲寫與一等五十圓、二等三十圓、三十四、三十四、三十四、三十四、三十四、三十四、三十四、三十四、三 、大さキヤビネ以上、新鵬員級に適するもの、川柳は五旬以内、組御局選の新年継続、和歌は一名丘町、短時は三篇、伊。

本社「銅銭局宛送所の事、應琴作品は頭何なる運函あるも返戻せず、明和書年十二月五日限、總て「南日新半文書又は新年賞賞」と表記し、 では従来の人間的不自然な運営制度を全然振跃し輸送線を荷主の自 滿洲日報社編輯局

で市街戦

国除となる

切ふ赴任

内地

敏夫氏(前滿鐵地方頭長)

外廿二

四兩日奉天で

一回議會

委員會及び演説會の次第決定

統(観察演権収締役)

乃美公司事務) 同上内

大観小觀

東の要表で英米市場に好感を以て 第の要表で英米市場に好感を以て

選挙毎に市得戦<sup>の</sup> ・ 日本では内域更活種に動大官に 府散制を科す、米園の御機搬とり阿片常體の脂領事夫妻に南京政

を課き数し 皮と肉を四散せした。

『メキシコ十日要書』メキシコ大 佐棚者・どオ氏の場下とピストル で市省域と行ひ死者三名、貨傷者 十二名を出しルビオ氏の場下とピストル でルに設立すべきことを正式に快 職場一致で有快部銀行を環西スー に表示すべきことを正式に快 決濟銀行設立 墨大統領選舉 LATUS LATUS 近江セー あかざれ

# が好きで鑑家を志望してるたもの概念。 に快よく配者を迎へて語べっ 反たて、申上げる壁の概味は持 でする前のおい時代には疾に作 古い日本間断生で表情染出身の質素であるから珍しい。監口支店 長よの常地で店長に架脈してより であるから珍しい。監口支店 であるから珍しい。監口支店 であるから珍しい。監口支店 東京十二日別電」簡民地特別創設の明年度第四に真に目下大阪省主設局にて査定中であるが、免づ五分、事業費一部、更需要三部、連續要一部等の標準に持つて二部の解えを行び一般創品同様、事務費一部大阪省は医定復費の部段につき十五、六日明省課を回き原案を決定すること」なった、接続省より経大阪省は医定復費の部段につき十五、六日明省課を回き原案を決定すること」なった、接続省より経大阪省は医定復費の部段につき十五、六日明省課を回き原案を決定すること」なった、接続省より経済を決定するに、対象者は、外のであると まちの商費人ですよ」

書を樂し

しむ

ならぬやうに云ふ人もあったりぬやうに云ふ人もある。 「なけれども就な、既然時代 要、「なけれども就な、既然時代

年前に失くなりました。

単長外二人と共に同じ旅費を研究」名な人で張に作の錆は巧なもので

to

大道中國與行經過韓調裳氏談

でこの大人が清朝時代の異た。異は異解、解は解閉町た。異は異解、解は解閉町

者で金織、脱石管、松栗用等をあれから帯断から民間にかけて

た数は難だしいものと思ひます。 でなりました。まだ個内にも滞出した数は難だしいものと思ひます。

げる事が川來ます。金銭の花鳥山

り 夫は私が若い時に書いたものだつ は一種を婆めました所が驚いた事に 真 ころで一枚の臓子を見せて驚つて

な大家であります。

の けません、見る方は一通りの得て い けません、見る方は一通りの得て の はません、見る方は一通りの得て

一枝も手に入れるまったから私は一枝も手に人をしてゐましたから私は

人は鳳菱戦、戦年、影響ぐらるのりました。現在生きてゐる知名の 林は三年前、金は一昨年故人になた。おりリブ

ものですが無名の大家は決して少

ます。出来るならが総自國で学校

を見てるる此際十五萬石の買上を あるが、前記の如く非常なる減板 は、前記の如く非常なる減板

から自由に古鑑を觀たり豪跳すありません。それは民間になつ

件し繪響を捨てからもう聞か久した事や聞かされ大美ひしましたo

光崎年間になつて超之歌は 「本は大朝女字と後類をも でなく六朝女字と後類をも

ばかりでなく響る姿派も大家でしす。 険は川水、花鳥に勝れてゐたれば日本にも飽く知られてゐた

年度蔵門地米を川棚り耕に於て買生ぜざる限り費却同数歳の昭和団

る十五萬石質春に際し特別の事情 ので最就省では先月十八日實施せ

の林は山水が得意でした。敗と

りませんよっ

海山居りまして日本の受所者中に 来、元、明時代にも有名な鑑家は 素の全総時代と本へば清朝の粒

名になつ

平に美術學校が設立されて十分別

氏の顕微は大龍の本宅に五十匹

一十二日年前十時より副相官既に 大共に本来数年度に於ける米数成 を附続しなは過数の委員会にて を発達したは過数のでのでは、第二回収費 はなるは過数のでのでは、第二回収費 はなるは過数のでのでは、第二回収費 はなるとは、第二回収費 はなるとは、第二回収費 はなるとは、第二回収費 はなるとは、第二回収費

在旅大支那名士。趣味五

「大平十一日愛電」 消息酒の職職によると馮蔣府軍は吹も一方を縁 本はどうすることも出来ない。 東京が利あらずして京美術の表 野野が利あらずして京美術の表 野町が利あらずして京美術の表 野田のは 大海北西部に戦を戦中して を開撃は困難を魅ずる地でない。 斯くして歌手

は るが、たと源氏を利用する時期が とと が、 機能が到来せば 単変を かました が、 機能が到来せば 単変を 滞来 した新政府組織を か器し 比重 やて 深氏と 多分に 共鳴する 歌が あった と 源氏を 利用する 時期が かった と 源氏を 対象 と に かった と 源氏を かった と 源氏を 対象 と に かった と 源氏を かった と がった と 源氏を かった と かった と 源氏を かった と 源氏を かった と 源氏を かった と かった

る。、且つ間氏としては革命の功能、己の手に掘つた動食が氏の向き造が、其意志表示をしないまでいる。五分五分にあしらの崎殿政権を自動の関ラ黨政府に満足してゐない。に動かざる所は清晰と皮針勢力を制造るのである元米間氏は一篇就一分の色目を見せ附着を機能し容易 | 一般によると風味のは、大本 類に策動

正式會議を開催するとの決定的 下式會議を開催するとの決定的 然し交渉は極めて単層で、東接交渉が進行中かどうか判削せぬ

割削減

要求額本年度に比し一二割増

近く省議で原案決定

**樹間駅につき転哈ドイツ駅銀ギス** 【ハルピン特電十二日表】 第支交

102 mg変 管理局長の標限に関し何れから を選続し、 102 mg であるか 管理局長の標限に関し何れから 102 mg であるか をらゆらしいが、交渉成立は期 で行はれるか未だ決定はしては で行はれるか未だ決定はしては で行はれるか未だ決定はしては で行はれるかまだ決定はしては

通告に難し来だ何等具能製 なく 職に「捕廃金雄定砂栗」は風るから 職に「捕廃金雄定砂栗」は風るから でである程度で二三回の内交渉して を動きは、ででででででででいます。 ではれた複様である、面して砂栗 では、かったが、東繊維は緑砂栗 では、かったが、東繊維は緑砂栗 では、かったが、東繊維は緑砂栗 では、かったが、東繊維は緑砂栗 では、かったが、東繊維は緑砂栗 では、かったが、東繊維は緑砂栗 何等誠意 を呼んしまたは哈爾家 が同鐵道は西部線に於る 度は特産商を属でい

豫算

▲第一日 午前九時より受付側組 ▲第一日 午前九時より受付側組 た代合唱) △理亭長挟抄 △來賓 た代合唱) △理亭長挟抄 △來賓 大伊 ○ 経訓報告 △ 講案 上程 (提 ・ 電別、 計雕探決) △午後大時

現勢表を 

鐵道局で決定

國に提示

軍縮會議資料として

『東京十二日登電』 は十一日午後も午前に発展を開 は十一日午後も午前に発展を開 は内国館と見値し発展を購入し四 が高然系年度歌第より不勝入し四 が高端系の件に乾きては無解炎 の情に発表を購入し四 が高端系の件に乾きては無解炎 の情に発表を勝入し四 が高端系の件に乾きては無解炎 米買上は

五千八百九十七萬四千五百三十一石に比し六十一萬二千餘石の減少 を示し、至平下以下五百三十一 には期後も斬らずばなるまい。

やない、どうやら永沙きさうな 七十五歳の宅職を提げて別府を跡 ふ此母にして此子ありかっ れた河南の歌歌、云はぬことが今にも大衝突が起りさらに作へ

職を譲んで併職器に残成の方は避順カフェー併置問題、双方の

世き込みの

機を企て世界の平 同事件は

南京政府の

数はれぬ失業者

市社會館の行商計畫も

馬耳東風で暮す

日

和

## 特産南下の活況が はれる失業者

の豫定を襲更し東水温泉に向ひ某時三十分釜山觜、直ちに東京帰邉

犯人は不起訴

臨時雇三百五十名採用

鐵道部の増

に職事者の履際智は数年末より補機各部に山積して居り其内より び列車區、機関區に百九十名を採用し從來の從照員を服上げ其後签に入れる方針、入れて入るが、内七十名は支那人をとり其内閣は大連場順百二十名、長寮興二十三時果此多代時期間約三百五十名の臨時增員をなし先月下旬より大連、長寮及び派 日職神病院へ入院せしめた 事件の被告本所属東大工町門明 東方で首相が車内に在りと決職し 東方で首相が車内に在りと決職し 東方に在りと決職し 東京・二日發電」去る二十人日 東京・二日發電」去る二十人日 東京・二日發電」去る二十人日

贅澤な女生徒の服裝」

標準服を制定する一

上海大舞臺と同型に改築

女學校とも連絡して愼重研究



密輸副領事共

有機で、比監等級の絵地ありと當れ、というなる事が問題となり、父親が七、八十銭の野川帽を被つてゐるに其のは三周五十銭も野したと云ふ 野津ビル

第せるもので既に廿五年を經過し 今日に至ってるるが最近に至り著 るしく日歌のて来た日本館の興行 現に刺媒され奥町にある永善茶蔵 りまする編述があるので小 大連に限はしき離補を理説す

大連門浦り七二第二野津ピルデイ

一時の盛んな夢をトーキーと云ふたモスコー生れパースケー観は、たモスコー生れパースケー観は、

苦力が千代田町で惨死

交通訓練デーに 電車の轢殺 際れ違つた電車で

大きなストームに吹き巻くられ、 活際に舞び脱つたが、何吟遊も搬 に海に舞び脱つたが、何吟遊も搬 と海に角び脱つたが、何吟遊も搬

北海に舞ひ殿つたが、2

の その上車艦にかけられて石足を をの上車艦にかけられて石足を 独立了百十六號電車に が飛ばされ 大大看手 東京 で、現在その監督といかにも階の監督を思ひ出された名様で、現在その監督となる様で、現在その監督と思い出された。

**K險料一圓五十錢保險金二千圓** 神名までの傷害及スキー、オリート こ因る傷害並に凍傷の危險 が生る 保險會社で

盗んだ男が

んだ藪蛇

なり左の規 Ξ

山東省宮縣生れの殿夫吟報でして 一年間季大省職は縣に於て際く院 に居住して居る親戚にある張田方 に居住して居る親戚にある張田方 に居住して居る親戚にある張田方 に指辞して居つたが、同夜虎の子 に指辞して居つたが、同夜虎の子 に強拍して居の野菜行商人田秀博 として十一日へ連し上戦十十八番 は、おもちを記したが十

體育保險とし 金寶一千團以

内一腿、十五日以内一個 料率、三日以内五十**銭、** 上二千回

る時には加 證據の拳銃

おれると

遠征す

蓋平城内で押收

馬賊團の本據を襲ひ

故澤幡部長殺し檢學

鮮人學生の 衝突解決

支那劇場も 時代に目覺める 小崗子の同樂舞臺が

愈々改築が出來上りました

に安い

のどすえ

十日より三十日まで披露の御印に

や半

額にて差上ます

粹向きの小間も出來上り皆様の御越

する折、これに反し大国語内にターする折、これに反し大国語及び適時と相次で出現せんと 奥町永善茶殿。小橋子内崎街にあります。 上部大学家を見本として大陸同型 することとなり支那一流戦場たる することとなり支那一流戦場たる 整連後**漢算真の他も大陸兵艦化する九日出還数十日間の豫足にて大る九日出還数十日間の豫足にて大** る模様である ーキ

宏來洋行 蜜柑和問屋 pompeian ポンピアン 者く 艶々しく

根本から肌を美しくする

マツサージ

### 元東京カフェー女給愛子こと 物子に難し遺版の意を表し示説に なったので事実が観像でもかり なったので事実が観像でもかり十 連し直ちに右順末を海砂崎に概告 連し直ちに右順末を海砂崎に被告 がは、大次浴せんとしたが、学り はたい、浴浴せんとしたが、学り はたい、浴浴せんとしたが、学り はたい、浴浴せんとしたが、学り はたい、浴浴せんとしたが、学り はたい、浴浴せんとしたが、学り はたい、浴浴せんとしたが、学り はい、たび浴せんとしたが、学り はい、たが浴せんとしたが、学り はい、たが浴せんとしたが、学り はい、たが浴せんとしたが、学り はい、たが浴せんとしたが、学り はい、たが浴せんとしたが、学り はい、たが浴せんとしたが、学り はい、たが浴せんとしたが、学り を聴賣局勢値に嗅ぎ州され火連署 十五銭を帰職し自殺に監骸し居る 十五銭を帰職し自殺に監骸し居る に突き出された 女給毆打不起訴 食堂車給仕の密輸

**娚** 生 **募** 集 三 友社 音

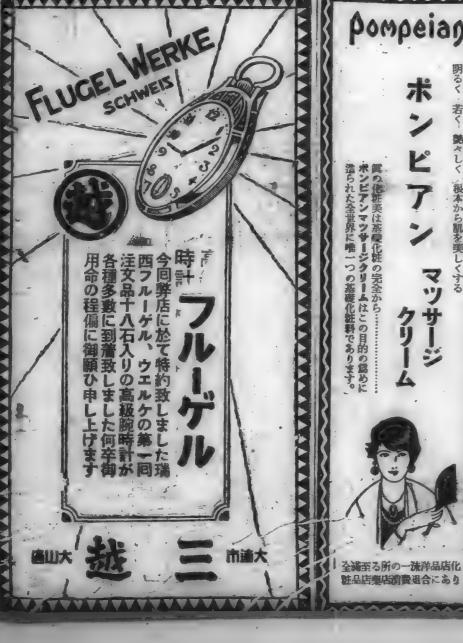


**竞连时四丁目** 更四次三 連に際して日御多用中の建版を開見送被下町 大 阪 商 船 株 式 會 針 挨 拶

界各國酒類 0 00

日本 名 東京風菓子謹製 名産 カハッヤ産 や周防名脈

但を御待ちして居ります御宴會場に適當な大廣間、 13



三、色豆及更素物に作用の機凶に は過去のす機を参ざとし一定 量は過去のす機を参ざとし一定

漫經書濟

他い。……コヤントか馴泉州総君一思彩せずばなる 日本の馴然医説も欲しいがサテ自由港を捨るものも

所は戦者に普通直接演事権を に附與する法案を提出した

貝出預金共に

特産出廻活況に入り

本歌正方法には「 をの二温の標準見本を作成の上書 との二温の標準見本を作成の上書 との二温の標準見本を作成の上書

預金及び貸出高の料紙を示せば左来し別項の如く十月末帳別は近來 来し別項の如く十月末帳別は近來

混保大豆見本 満鐵改正を企圖 外觀的特性をも加味する

安奉線の葉煙草

内地へ賣込み運動

有志等は土地の庶民既行と間別の とに決定せるに就いて開原銀行の に陥つて以來昨秋第三回株金搬込 に陥つて以來昨秋第三回株金搬込

滿鐵の橫瀬氏專賣局へ交渉

割引発金

常に新型と嗜好にしつくりと 難心地良き洋服は まづ定評ある坂本で

英二二 岩 三元 美 气

ぬ拾ひ物に大喜びである。 

順炭內地輸送

百十萬噸

全國石炭聯合總會にて決定

内地米穀の

開原銀行總會 へ譲渡附議 需給狀況

に不須乗閑散物に散曾し一個方の練落を示し植場級一個方の練落を示し植場級

滿銀臨時總會

別銀合併の件

爲替相場(計量) 飲い窓い落別の多が まづ健康と……まづ品質

芸雑は経

職にある。別ち拠戦を観聴して職職にある。別ち拠戦を翻走して職がる行為に難する行為と為し得る中の行為では商との方為を要議職は出の所行為では商との方式に関いる。別ち拠戦を翻走して職にある。別ち拠戦を翻走して職にある。別ち拠戦を翻走して職にある。別ち拠戦を翻走して職にある。別ちが戦略を観音を表して、別ないのでは、日本のは、日本のでは、日 市營市場の 改善問題 結局は四制度に盡く その利益と弊害

上に於ても自由放作

とに続し市野聡一郎流者は都市ではない。現に長崎や新殿各都市ではない。現に長崎や新殿各都市ではない。現に長崎や新殿各都市ではない。現に長崎や新殿各都市ではない。現に長崎や新殿各都市ではなるとの取るとるに足らず。却つて久益を増進するために新鮮度を数くものであつて側の及益は開業に成れた。

本いとの論に難しては時代は既に を調者より指案者への時代であった。 を調者より指案者への時代であった。 は成立の対象に対しては時代は既に は成立の対象を確信され ることもないとしてゐる

が市場の関系な政を関するとのでは、収録と上並に消費を関うという。

况

で買ってやりや文句は

ある。他の成就を オ よりとさせたのは

電のまさに息をひきとらうとする のまさに息をひきとらうとする。

本人もお馴なの土地でよ更新 大いに勉強しますと力もである人 大いに勉強しますと力もである人 大いに勉強しますと力もである人 で長七郎」を「戦して一部」 を見しますとのもである人

今はの際であるかも知れない。

等 東縣大和權 等 東縣大和權 等 大衛 孫

殊 祭 基 路

けれるだけは守ってみようの

れなくなつた時に死な

選の興行でご合様な

大和関生駒幼稚園県

と心に決めた動悟だつた。

そんなにしてまでも生きられる

連覧時代が前後七年間といふからって事友連中は親分古いな野梨である。 人小数婦外君がぼっがり来通したですないである。 たやうな感でしゅットウに来たのたやうな感でしない。

た常然ありさらな事である。そして、それが選々来たのだ――と思ったがかりだった。もとより心底

あた幸は、泣きも驚きもしなかつ

地の撮影は……」とハカく

魔の手が伸びたのは、狭して今夜

原語の唐五郎が幸に限をつけたのは今初めてではなかつたのは今初めてではなかつたの時の口に、新聞の水代の鳥囃子をつけて、説舞を一さし舞つた時度五郎は、その時、弦の中に珠を見付けたやうに離りし、それからずつと、幸の身織から限を放いったが、殊悪に別なが、殊悪に別ないのだが、殊悪に別ないのだが、殊悪に別ない。 して來た唐五郎だつた。 際大郎がそれを

で 大 上 を 知 らない 管 を 形 目 に 見 が、庫十郎は此方へ縦離を見せ よいか判らない。けれど、來るで よいか判らない。けれど、來るで ないぞといふ目離がないのは、行 して立上つ」。

カイー して立上つ」。
して立上つ」。
はない。陳十郎に遊らふのほ鈴
が明けますやらに
を一心の前りはそれである。
を では忍從に馴れきつてゐる。ど
をは忍從に馴れきつたこと
はない。陳十郎に遊らふのほ鈴
が明けますやらに
と 率の汚れのない簡に、触ろしい知つてゐるからである。

東へる方法を数へる。 連演藝さ 來る廿日開館 工事進捗して

大日活竣工期

は下京を就行で工事を含ぎついる市で整理である。 日下京を就行で工事を含ぎついる市で整理での新規で、本が確定したので開係者一同協議 みが確定したので開係者一同協議 なれて保安係派信局等の検閲を受け来る十日午後開齢式を行ひ両を より一般に解析し事々しく新変配 より一般に解析し事々しく新変配 とないる。

·

葉合名會

图像

ルイズ・モラー お待ちかねの 別大日本が路の 窓多日本の の東三右衛門…

を経アレッグ・Bフランミス氏主演 東京 (東京 ) 大学 (東京 ) 大学 (東京 アラン・ドワン氏 ) 東 (東京 ) 大作品の (東京 トラ氏演

松下電器廳

爾岛

英子道 **野** 

画

### 角町河三堨质西市連北

8 田 澤

(形體級用各個)

關答回

27 大連市美澤町二五電元六八八大連市美澤町二五電元六八八八大連市美澤町二五電元六八八八大連市美澤町二五電元六八八八大連市美澤町二五電元六八八

を開発する が無手質なる方法 での方法 での方法 での方法

を辞すは)

の評好大

國

蒲田行 JH:

流等

五拾名

るなく白色にか細メキ

○○の所へ適當

、カガロカリーム

解なお答へ下の

する

向観いしら新の子み十島東 演助第一城結•鈴田高•枝碧田龍 時 ざん 演助館太静根中・子絹水若 3

中原語

! ぐ棒に性女き若の世くわまあ

卷の見伏羽島 卷の天駄章 卷の王律 切封を八拾半前一のを六十三全 トスヤキータスルーオ 督監保富田池

拾壹日より 三日間短り



《ルグスウ井ス 皆い皆いウ 古い古いウキ

H310

し美にか健を膚皮・

学の費用選 数 主 

お子はの小彼を防ぐ芳香健園液 回ミッワ

家具

大御身長 四 五尺六 フシャ服、紺小倉服、格安品 五尺六寸 以下各種 以下各種

特專 鬼綾サ 箭膏 耐寒防

會社

電話代表七一〇一番 大連市山縣通一八二番地 保

契約高の多少に拘らず御電話あり<br />
次第係員参上御相談申上ます 運送。自動

在庫豐富多少に拘らず御用命願ます ツキ

コーパー ツ

電話(夏三八八七番)

用製

家庭は頭痛

明るく暮せ

(四)

平

(167)

昔

は提灯

電池費口

優美安全

經

済

都注意と

今

郎

作 畵

つの群(二〇)

「幸といつてるるんで……」 「さらか――幸、此方へ來い。こ でありといつてるんだ。厭か」 幸は心のであんだ。厭か」 幸は心のであんだ。厭か」

いた骸を裾光の腕に描いて貰ひたと云つて戴ひたい。たつた一度で

幸のほのかな、これが希望だつ

意の火の中でよる。人は生きてゐ がある。 希謝さへあれば、 優守地

の

いいかったら

●本日航空間はの遊覧飛行にイの一般にその航波を問へば「ちつとも 機にその航波を問へば「ちつとも 機にその航波を問へば「ちつとも でもありませんわ」と大 ではありませんわ」と大

スターの質

列

观赏募集

問題

生

366

三井物產株式會社

保各

朝各煖石種屋線 房綿 3

を備へて

耀かしい諸君の未來を基礎づける唯

の力であらう。

日日後感謝を左の親定に

扱ハガキ(答案は簡単に)

### の人商的界世

功 成

に勝る 3 東京市 芝區愛



本書

としての ション・

第三権人さしての

ジ

教科書

也

これこぞ生活をはじめるに好価の。 まんである」 であって、試して、努めて、あとは神に任す、これが私の一生だ」 ながばれり」 であいてもと

甲乙兩種ごも奮つて御應募甲乙兩種ごも奮つて御應募

の鋭 大ア ーカ 代をも敢然こ打破して の燦然たる大傳記。これぞ新 者こなつた!彼の巨大な足跡には學ぶべき多くの眞理と氣魄がある。 弦然たる彼が八十年の生涯は世界の高海を照す巨光だ。この一書こそ 燃ゆる希望で強い自信は如何なる苦境、記。これぞ新商業の資典さして最高の光輝ける商王。近代商業の偉大な開拓者ジ 見よ!貧しい煉瓦焼の 異さして最高の光りを放つし彼 一少年ションは成功の第 困難、 3 ナ

著 最新 刊 是 科 二 十 發

MU ED

@ 能大連商業學 大 連 中西通の排込を

生田蝶介作歌奏

310 FERMIN

白質を消化する故に、凡ての腹、異常臓酵や腐敗を防ぐほか、 ピオフェル 治療ご 優れた効果を收めます ンは腸内清浄作用を管 凡ての膓疾患 腸のはたら



消化不良



立命館大學出版部 选等 0·10 送券の・一〇

"EAGLE"

¥,

車手現金卸

羽

行

本的に歌解であると歌告してゐる した又第三インターナシ

7外的準備も着々進捗

数日中に金解禁斷行か

英米兩財界の反響に關する

津島財務官の報告を待つて

類く職意機提出を行はぜられるこ 中に於し獲り首相侍立の下に左の 「東京十一日發素」來る十三日宮

他の歌明に對する英米財界の反響に在外正貨補充策としての借入金数約締結等の機器を待つ誇りと「生」作の意真の組成、一般國民の影悟など對內的機綱も大體に於て整ひ来り渡口首相の施器對外」「中國教育的重点、自替、金利その他何れも日を追ふて益々有利となり政府の緊縮節約100円の影響がある。即ち東京神里十二日後」金剛縣時行に對する政府の態度は今や滿を持して放かずといふ態である。即ち東京神里十二日後」金剛縣時行に對する政府の態度は今や滿を持して放かずといふ態である。即ち

我財界立直しを

府の財政緊縮一般消突筋内の結 日本50金解禁決遣は米國で好遇 を以て迎ぐられてゐる、既に政 を以て迎ぐられてゐる、既に政

**到外爲替相場** 

米國財界に説明

と見るもの少なからず各方面とも頗る緊張して政府書路の態度を注頭してゐる。 一世を決定する事になつてゐる。 從つて問題の断行も或はこの數日中にあら居り右懷糊も多分明日のうちには到達すべきを以てその到達次第政府に直ちに歪戯何等か重大

西川等授瑞寶章 小山 松吉 

抑制不能

委員の意見を

0

はあると云つた日郷だ、成程、しかに違にばかりしてゐたではないかたかドブへ案た大金でしたのにのもあると云つた日郷だ、成程、しかに違にばかりしてゐたではないかたかドブへ案た大金でしたのにのをもあると云つた日郷だ、成程、しかに違にばかりしてゐたではないか、でみません。小問婦人遂は日支ののとまへからの推移だ。これも能響であったかも知れぬそのは能が事情を知らぬもんだから、「一つのおかげのやうに云ふがこれはず「二十一ケ條、、一支那では大部分を「東青年後君の話に同様したかも知れぬその「は離だっ」とまへからの推移だ。これも能が事情を知らぬもんだから、「一つとまへからの推移だ」これも能がであったかも知れぬその「はないか」と言葉は至然記述を持つの通常でもある、清極が年百萬の砂民一本です、分りましたか。ソルカラ」りです《五日》

寛城子長春間に

支那側鐵道敷設

日から土工々事に

終ったものは兵三千砲十八門だと しつゝあるが。今日までに輸送を しつゝあるが。今日までに輸送を が、今日までに輸送を

を開かせじめると共に各株が政権が を開かせじめると共に各株が政権が を開かせじめると共に各株が政権が を開かせじめると共に各株が政権が を開かせじめると共に各株が政権が を開かせじめると共に各株が政権が を開かせじめると共に各株が政権が を関かると対に第一条では、日本・ 佐分利駐支公使

けふ使船にて來連

近く更に騎兵戦を出動せしめる智・大政策十六、十九。二十四族を満大政策十六、十九。二十四族を満大政に帰送完了し、第支交渉

ては明年一月一日から東支の収入し、【ハルピン特徴十二日政】 夏線に 大洋建 建水大を

だ保障さ

支那の治外法權撤廢要求に

米國政府日

反對を囘答

二重課稅復活

青島市長事

『北平十一日製電』佐分利久健は 十一日夜東京暦の漢字、立は東京 で総約基礎級を作成し十六日奉天政 十九日夜東京暦の漢字、立は東京 でに南京訪問の漢字、立は東京 でに南京訪問の漢字、立は東京

明年一月の先物は

本日附第二大照會にて治外 「實際的安全が保障せられざ で開始を要求 で開始を要求 で開始を要求 で詳細陳述せり、未政 過去數ケ月間の出來事が支 過去數ケ月間の出來事が支 で詳細陳述せり、未政 で詳細陳述せり、未政 で記して記述を受け十一時 で記して記述を受け十一時 で記して記述を受け十一時 で記して記述を受け十一時 で記して記述を受け十一時 で記述を受け十一時 で記して記述を受け十一時 で記述をで言った、臭氏は滅兵司令及 で記述をで言った、臭氏は滅兵司令及 で記述をで言った。 で記述を受け十一時 で記述を受け十一時 で記述をで言った。 で記述を受け十一時 で記述をで言った。 で記述を受け十一時 で記述をで言った。 で記述を受けまして記述を で記述を でいた。 でいた。

五千八百三十七萬餘石

十一日農林省發表

四十九ドルを唱ふ

気迷ふ

のが金解禁

米國は好感を以て迎ふ

「東京十一日製電」、野外路香市場 はらず無既は称無迷の脚にあった然 特においてはニューョークの野日 し貫手は追随せず依然一野米四分 サポイント方低落したので、野内 特においてはニューョークの野日 し買手は追随せず依然一野米四分 アーカー 大瀬 であるが 一一片卅二分の三十一を鳴へた然 神ポイント方低落したので、野内 特別、東年度 からったが要似なかった 実験の服職決定等良好なるにか からったが要似なかった 要 あったが要似なかった 要 あったが要似なかった 要 かったが要似なかった 要 かったが要ないまた。

遼寧省出穀禁止

糧食の不足を虞れて

池田三井銀行常務の歸朝談

東郷公假設行批監は財務決定通り 東郷公假設行批監は財務決定通り 東郷公假設行批監は財務決定通り 東郷公假設行批監は財務決定通り 東郷公假設行批監は財務決定通り

太平方會議

上海の英國機關紙

乐日章氏所論を

配して演説に優職なる挑戦時候同 南事件の如何なるものなるかは識質問題を強めたものがあつた。 職でも、余氏が思ふより以上院在して論議の不正確のみならず じたっ 職でも、余氏が思ふより以上に終て思議なきものが住人にして 悉されて居ることと想像するこ

る 『東京十一日漫電』本年十月来現 れたるのみならず、なほ地方によ 五千八百三十七萬二千三百十石に 於ける製画 頭の被数を受けたるもして之を九月二十日現在に於ける のありしに因るものゝ如し。 配し 中央農人千五 百 七十 石 (三分六 十三萬七百八十九石 (三分十八百八十五百八十九石 (三分六 十三萬七百八十九石 (三分二厘) の減数を示せり。 この方は (三分六 十三萬七百八十九石 (三分二厘) では (三分一度) では (三方一十一石) では (三方一十一石) では (三方一十一石) では (三方一十一石) では (三方一十一石) では (三方一十一石) では (三方一年) では (三一年) で きのふ奉天着

| 東藤町令(十一日附)

上奏事前に漏洩

網紀紊亂の大問題として

農相嚴重調査を命ず

長春寛城子間の新線 道を敷設 長長衛峰に至る環道が飲を批覧し 東線管理局をして電滅子等から吉

亞細亞石油株式會社

新製品銀貝印揮

「銀貝」印は完全燃燒を爲し最大能率を舉げ得る事を保證する。 今般亞細亞石油株式會社に於て新製品「銀貝」印揮發油の發賣 處のドライガソリンであります を開始した事は揮發油界の一大福音であります 小賣値段 赤貝印揮發油よりも 1第七年 金五拾銭安

福 司

電話八六一

電話二一〇七二番

奉天千代田通三六

亞細亞石油株式會社

奉天發賣所

**豕賃値下問題** 

洲 日 報

種の社會問

arrived safe and sound. At a Custom-house. Gentleman. Is our laggage examined here? Officer. Yes, it is. Please show me your pass-

port.

trunks?

Gentleman. Have you any spare rooms? Waiter. Yes, we have. Please step in:

for dinner.

Waiter. At the end of this corridor. Gentleman. I am sleepy. I want to go to bed:

Gentleman. What do you charge?

Gentleman. Bring my things here. Waiter. All right, air.

Gentleman. Where is the lavatory?

(next morning)

Gentleman. No, I have none. I have only neccesary

At a Hotel.

Waiter. We charge two dollars for the room

and one dollar for breakfast, one and a half for tiffin and two dollars

Waiter, Will you bring me my account?

Have you anything dutiable in your

They are for my own private use. Officer. All right. You need not open your

電話三九五一番

主なる既負大の知し

総統は合わりて青年組同院合に移って開機九時二十分よりが年組の紅白

柔道部

**針邊、四等林、工等帝**見、三等

一等門脇、三等山口

完成と共に運行御路が順川場善適町三丁目魚より設置してゐたが近町三丁目魚より設置してゐたが近い大統正する開電艦階の新黎事務所

来と變りなく大人ニトと、たが追て認可となるべく料金は従ったが追て認可となるべく料金は従っています。

が、江頭、地元の佐々木、山田、旅順の大木、

盛況を極めた 新道場開き 全浦の猛者集まり

武道大會は初多の冷氣躍む落成式をかねた撫順に於け 龍攘虎搏の壯觀 |川 | 四等五本拔

| 世間であり、何分質級勝負その土、仕太万幸教士の「大日本部園 | 大日本部園 連被多江五殿の「仕書派居合」等連数多江五殿の「伯書派居合」大 张中林 A 五 等四本 拔工業實 習所 张中林 A 五 等四本 拔工業實 習所 拔身の大刀での渡り合ひの国 

二場の開舎の跡を述べそ

四本、奉天西大十川、 は大連より道々来振せ

致工程 電 所務理 

十一日旅順警察署へ際可方を開出しませれた断密に計ぐ事と變更し

水師營行バスの

旅

運轉徑路を變更

事務所の落成と共に

は五日を通じて五十帥だと 俱樂部で贈習會を催すと、協會費十四日から十八日まで五日間浦銀

百圖縣下に

郷家屯附近(富地を距る北方約十開原県閩縣界島岡縣老少壽、木口 大馬城團 開原公安隊出動 密輸取締に

國人収号は非常なる利便を得て要へに依つて新市場水師警問の

より中國人業客の増加を見る

未教育兵の

開東藤小川道子に長は十日朝深 で、一大地域の大地道子に長は十日朝深 で、一大地域の大地域の大地域の大地域の大地域の大地域となりついるる古 は現在重大地域となりついるる古 は現在重大地域となりついるる古 は現在重大地域となりついるる古 は現在重大地域となりついるる古 は現在重大地域となりついるる古 大地域が内定せりと個へらるい折り 大地域が内定せりと個へらるい折り **所設置希望** は尾崎署長の東道にて鴨緑 小川課長の観察 人を交へず小 職事件も一段落がついた 職事件も一段落がついた を解析四名に対し左の如き門決が を解析の的となつてるた場所で がは、 を解析の的となってるた場所で がは、 を解析の的となってるた場所で がは、 を表示でいた

伐の爲め九日

の陳列教室をなして十一日透地方にかゝるものにして顕微其他遊當にかゝるものにして顕微其他遊當 常に於て鄭五回美術展覧館を 美術展覽會

七名は十三日來開し小學校幼稚園

新聞保織

計な税金を取られる様になった職最近放行聡剛脈が謎つてから、金

十日は一般

**谷狂竹師獨奏會** 

原原を一線に営る新義州府では

闘する座談會

奉天で開かれた

今元祭族行戦は二月以際の税率 水でによて焼めて建った問題で其 水を開いたら被行戦とは貨車機込 かと聞いたら被行戦とは貨車機込 かと聞いたら被行戦とは貨車機込 かと聞いたら被行戦とは貨車機込

様の事を言つて来たので食物所で と言ふので、その方法としては被 と言ふので、その方法としては被 と言ふので、その方法としては被 と言ふので、その方法としては被 強をしない場合は、元からでなけて来るから其れは進行されない。 百幅の品物を十階を分が行戦は分割する事が出来得る機能なつて居る。美の間の事はなって居る。質は放行戦は無行されないが、現に廃出来る事には、元からでなける。 を要する。というでは、 一体を要する。というでは、 一体を要する。というでは、 一体を要する。というでは、 一体を要する。というでは、 一体を要する。というでは、 一体を要する。というでは、 一体を要する。というでは、 一体をできない。手動物は、 一体をできない。 一体できない。 一体では、 一体できない。 一体では、 

職所の間では十七日十号三分遊酬 大等では十七日十号三分遊酬 大学では十七日十号三分遊酬 大学がでは十七日十号三分遊酬 では十七日十号三分遊酬

三二一五三十十

藤井得三

△全國各葉店に有り

が は 機道事務所に 書画を出したのでは 機道事務所に 書画を出したのでは 機道事務所 長から 総容 管理 と云ふ書画には、 数行版の分割は と云ふ書画には、 数行版の分割は

田庭を中心として左の仰き意見 が一般に知られて居ない世上に保に終て左の諸氏館合し「遠商間 程に考へて居るが極めてデリケーに終て左の諸氏館合し「遠商間 程に考へて居るが極めてデリケー

兒童俱樂 盛大な開館式 本部の

綠會秋季總會

新住地は山栗縣北都留郡島田村 し十一日夜九 - 碧内地に引揚げ し十一日夜九 - 碧内地に引揚げ

ひは丁度毒瓦斯の様なものです。捨て」お

されは痰咳喘息の病

であります。

作用するから 呼吸機關。

伊縣、里、手島各議師五日、五番運动推圖

満銀計員に難して左の如く異動が満銀計員異動 傳ట在動

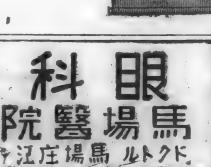
それは直ちに

は数家族の戦闘の親が押寄せ本族が別の都合で送還し難く官公の醫院に入院治療方を依疑するも經費其他の関係にて其取扱に減り、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、新養性のなり、

学就密輸判決 設置されんことを認

十一日朝四時代に営地を出設した ・一十一日朝四時代に営地を出設した ・一十一日朝四時代に営地を出設した ・一十二日本の記述のに営地を出設した。 ・一十二日本の記述のに営地を出設した。 ・一十二日本の記述のに営地を出設した。 ・一十二日本の知く第一回営時で、十六日朝出發、通江口に向ふ、十六日朝出發、通江口に向ぶ、十九日より二日間、通江口に向ぶ、十九日より二日間、通江口に向ぶ、十九日より二日間、通江口に向ぶ、十九日より二日間、通江口に向ぶ、十九日より二日間、通過時に関店、二十二日朝出發、金家屯

り成る、故に必量にても 質点の影響と



咽 且

大地市教育取香泉福良 佐志醫院 産 意話六五0二番

答 五八名

老虎荼▲

割が運動の

**性紅熱の豫防** 

同 全流光東祖合聯合會總會に出 東田 氏 赴志 開原米敷租 東田 氏 赴志 開原米敷租

巡回お話會

映し入選者には各々賞 物に動して金賞、銀賞 かに動して金賞、銀賞 が成態出されたいと

地方委員異動

簡素 簡素 を示した

参加して 

前九時代より同國に於て行ふ 一覧を記式併びに移順式は十六日午 要落成式併びに移順式は十六日午 一覧を記載した。 一覧である。 一覧でする。 一定でする。 一定でする。 一定でする。 一定でする。 一定でする。 一定でする。 一定で 一定で 本年度入營兵 幼稚園落成式 過日神田内移局長より通牒の全著 等に組製し、藤原民政制では 実實際運動資子の第一歩として来 大實際運動資子の第一歩として来 大大電子の製造員全部を民 の製造員全部を民

訓示及び講話を行ふ由である

心にも関家の大事と答へ所裁から 金二間に覚情を眺めた可愛い手紙 を深へ歌な書に登出・: を深へ歌な書に登出・:

婦人會の活動

新が出張する事となつて居る 十一日 山手町安東県樂都 一十二日 朝日小彫校 手島、檜山、伊東各講師 十三日 滅銀消防織 川端、竹田、羽田各講師

は經濟図職に属する話を聞き子佐竹地方委員職長の合譲艦子さ

三日間緊縮強調を實行して居る 三日間緊縮強調を實行して居る 原に是れを活用する上に付き研究 原に是れを活用する上に付き研究

小學生の献金

經濟緊縮强調

を東地方率約所では例年開催する。 として十一日から十五日 送五日間 として十一日から十五日 送五日間 として十一日から十五日 送五日間 として 日本 に は 新話、 日 戦 が 日本 とな とな で は 子供に 配 て の 書話 を 毎日 左 と は 子供に 配 て の 書話 を 毎日 左 に 子供に 配 て の 書話 を 毎日 左 に 子供に 配 て の 書話 を 毎日 左 に 子供に 配 て の 書話 を 毎日 左 に 子供に 配 て の 書話 を 毎日 左 に 子供に 配 て の 書話 で は 新聞 に か ら 八後 中まで 一ヶ 所 二、 三人の 勝って ころの 勝って ころの 勝って ころの まま か に か ら こ と ら へ を まま か ら こ と な に まま か ら こ と ら こ と い まま か ら こ と ら こ と い ら こ と ら こ と い ら こ と に まま と な こ と ら こ と と ら こ と と ら こ と ら こ と ら こ と ら こ と ら こ と ら こ と ら こ と ら こ と ら こ と ら

本溪湖

管内警戒 晝夜兼行で

(児童) 百餘名に父兄並に保護者に於て行はれたが、参列者は會員に於て行はれたが、参列者は會員 十日安倶大ホールて

にレコード総質、高話等数人の機構の開館の挟ぎあり大で來賓の を計算を着代表の挨拶等ありて後 を対して、 を対し、 を対して、 をがして、 をがし、 をがして、 をがし、 をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがし、 をがして、 をがし、 をがして、 し夕刻閉館したが稀有のは 一同濫席する

一、早秋早和を實行しませう

て迅速に確實に治療を浴らるい事を選ます。

修養團の活動

新養州税量機能に於て設置せし大 住掛けの拳銃弾丸密機事件は其の 住場けの拳銃弾丸密機事件は其の 住場はの場合は でるたが、電景の機能なる活動に でるたが、電景の機能なる活動に 大に機準局に確され六日午前十時 大に機準局に確され六日午前十時 旅商團の日程

三、平常には木綿の潜物ですませらに暮らしませう 世の、乗物は成るべくよして歩きま 内で行はれる國民機様に参加し、健康保全の爲には毎朝神武境

情報者に取りては神益するところ 常業者に取りては神益するところ 常業者に取りては神益するところ 聚稲神(演會 炒炭給人館を開き井上號音氏の「母歌主義能より」 間帯脱丈氏の「母歌音は家能より」 間帯脱丈氏の「母歌音は家

貯金を献納

● だんとて常にゴホンゴホンと悩む人 ● せき 頻りに出で夜\*\*\*が眠り食る人 ● がが感じより起るたんせきの人 ● がが感じより起るたんせきの人 ● たん臭氣を帯び時々血の変る人 ● たん臭氣を帯び時々血の変る人 ● たん臭氣を帯び時々血の変る人 かっ くる人は必ず試みよ

佐り、権威ある専門薬龍角散を服用し いな些少でもたんせき、ぜんそくの氣 ないと、引いては生命を脅威致します。さ は、脚に多年に亙る實験効果に 味ある時は、既に多年に亙る實験効果に 味ある時は、既に多年に亙る實験効果に

かせき、ぜた 最 確實なる治療法

直接な病気 はありません。

世の中で何が一番人能に直接な病気か

恨

京市神田區豐島町

そ一二週間横げて用ひらるれば其が果野客なり其他類似など頭間なる呼吸が疾患のたんせきる凡

婦男用用 醫 院室室 大連市三河町十八 察察 診診

主り北端大阪場を流出し具 電天曜三等信合物便所用の電天曜二等に合物便所用の

所持し居たと、因みに捕獗した恋が、金栗百六十圓大洋百六十元を

术立

到臣公本

情婦の自白から

熊

岳

城

惡運盡き捕はる

澤幡部長殺しの兇賊

を纏め十日十八時半南行の列車に に宿泊せるを十一日午前五時半原 に宿泊せるを十一日午前五時半原

4. 经

機関紙だけに内容もよが紙は哈大洋嶽の最落で

設備不完全

驛便所の

尚薄銀には左の如き請願書を提。

出.

コンケル 美神丸は効能書に ある通り必ず ある通り必ず 数職心誠意各自エネルギー を傾到してたらざるを恐る 他の類似藥の絶對追從を 他の類似藥の絶對追從を

所持者に限り通行を許可されたを関へられるやう取計ひ願ひたきこと但し郷柵完成後には便宜をとして門鑑を発付して門鑑を対け門衛を附して門鑑をがして門鑑をがして門鑑をがして門鑑をがして門鑑をがして門鑑をがして門鑑をがして門鑑をがして門鑑をがしている。

で十日左の如き主旨の請願書を出 内倉長月胎八百八居住者等は連名 ので十日左の如き主旨の請願書を出

完全なる質迪道路を至急設置され、奉天驛附近から銀西に通ずるした

1氏が奉天の如き國際政治市にお 電機部の名指揮者スタウロウスキー 間接響部の名指揮者スタウロウスキー アンボールに放て第3

生活冗費を節減し合理的の消費の節約すればよいか――勿論日常の節はされやうとしてゐる。何を一

緊縮の先決 にも公私經濟系

集を乞ひ設立相談會を開くと 集を乞ひ設立相談會を開くと

は、オーケストラで今後春秋の二季を がするが基金親立の意味を以てA祭 するが基金親立の意味を以てA祭 一国(定牒七〇)B祭一園(定牒 を開くれ事情の の意味を以てA祭

二重課稅

各方面で

献金相談

小型校十九郎、中野ない型校十九郎、中野な

一解して に中で に一個に成、夜さの

全く

不景象知られる

ずの金儲高

る實

米はなくさも強りて洗漉出來るせいなくさも強いてただったがに浴かして

賓

の管標文へ機工 るな」と感生が排日 を接触すればよいと母素の過ぎが を接触すればよいと母素の過ぎが を接触すればよいと母素の過ぎが を接触すればよいと母素の過ぎが を変形にあ の電影の過ぎを観ける。 の電影が表生が相日

美風は公私經濟緊縮の傾而目

が 停文を撤布したこと、之を行ふこれ、管文を撤布したこと、之を行ふこれ、管は劉霄通硬策の急をであった其反動を日本に向ける意志であるとは数官の上に軍大

人の語なり説や

氏の大毎 受合新聞舗に襲り渡されて新聞舗は今回諏訪好士

經濟緊縮委員會

支部設立を協議

十三日地方事務所で

店及び書店において破行すること

婦人護身實演

は観に凋落し一時駅間人の欄利が と降い景氣を見せた と降い景氣を見せた と降い景氣を見せた

及び野大などの門下生川有餘名を で同氏が數年楽説身略勢力を以て で同氏が數年楽説身略勢力を以て で同氏が數年楽説身略勢力を以て で同氏が數年楽説身を関した。

**掘して組織された當地艦一の市民及び野大などの門下生州有餘名を** 

鐵西へ貫通道路

新設方を満鐵へ

毛皮鞣、染、色 \*養地蘭子三 \*養地蘭子三 \*養地蘭子三 \*養地蘭子三

五千圃でも三千圃でも買きがないと言ふ始末▲それはまだしも節を 者さへ出來やうと云ふのだから其 では取別所新観舎の珍飯もパツと しない▲ヤマトホテルの音樂指揮。 しない▲ヤマトホテルの音樂指揮。

婦人病を手軽に治す

はなく何れ土木係と協議の上何と 等かの方法を誇ずる考へで何と も中澤けがない

「本事に實代問題だ・非難の墜が を動回に亘り溢れ出てあるしか し今回の如き消略に洗出した事 はなく何れ土木係と協議の上何 と思はれるが今回ま での上何と を決した。 での上句と の上句と とはなく何れ土木係と協議の上句 との上句と の上句と の上 の上句と の上句と の上句と の上 の上句と の上 の上句と の上句と の上句と の上句と の上句と に二順宛の童子戦を組織すること 登敷初観高級の名小野校では昨年 登敷初観高級の名小野校では昨年 ーダーとしては概念なる要達が経れたストラかも知れぬが解職等のリケストラかも知れぬが解職等のリ

●副作用ナク無害ナル発疫元トシテ的 ・ の副作用ナク無害ナル発疫元トシテ的 ・ の副作用ナク無害ナル発疫元トシテ的 ・ の副作用ナク無害ナルの ・ の副作用・ の。 ・ の。

東京日本郷国本市三 総式 小西新兵衛商店 「東京日本郷国本市三 総式 一通元三郎商店 「東京日本郷国本市三 総式 一通元三郎商店 在一 膝病体質、神経衰弱等 魔 炎、頸膝結核、喉頭結核、痔瘻、脊 腫 海、頸膝結核、喉頭結核、痔瘻、脊 〇〇鏡三面 三〇〇錠入園

電話七六四八番

色の白く

ない方の自粉

ク無害ナル免疫元トシテ的コリ成ル職器製剤 浴臓コリ成ル職器製剤 浴臓

天天海よ 折詰仕出し 會席御料理 四五 十 拾

野標は森元良雄先生指導創製

七〇六九

双葉合名會計

社 案 圖 連 大 八町代岩市連大 道藝台下機廣西

~ 人 圓

当然変変

事の一唯洲満 へ店弊の店門

是全里之 正

點 錢

色の白くない 0 が自然にかくれ

年ばいの方にも

B50 変酒は夏じや!の 変酒は夏じや!の を酒は多じや!の

受験準備 聯臘出來

小児の便秘に

あぶら性の方や

上品にそして清新ない 生れつき色が白いやうな白さに た美しいお化粧が出來ます

脂肪のわる光も消に

(六)

明行方のほのかな明りが閉ざされた強かけの極からもれてゐます

の暴風はいつのまにか止んであま

その時、何かふとお母さんの心

お母さんは深くらなづいて

した。カーテンを明けた時

ったまいそのとまつた時間を酸かりました。

あ「病害を出て行きました(をはり)

本の形大殿場校の一年生がやつ

(開年1版)

そしてそれを持つたまゝ静かに

方がよい、

物足りない、やつばり歌があつた お宿での後離りはピアノだけでは

彌生高女北支那旅行記—(九)

朝食がすんでから皆んなは甲板に 降りる。 降りる。

併し依然として彼は静かである。

見えて來る。黄色、水も既々薄く

船は

日河を下

なつかしの大連は

船が開けられる。

再び闘つて來ない思ひ出多い最後

売めた。

今朝は私の目も奇蹟的に早期から

三川島廟を通る。

山の連絡を見やつた。

次第に近づ

時間がたちすぎるからなので

見舞つたおいしやさんの言葉も

わかりませんでした。

ー何か不思識な奇蹟が現はれ

いった。 はいっのまにか入時少し前 はいっのまにか入時少し前

のところでとまつてゐます。

日

年

四

明の入時頃まではお持ちにはなり 「お氣の酸ですが、お嬢さまは明

つやり

してゐたのです。

類は可なりに低くなつてゐるので

試みに郷に手を置てしみれば、

お母さんは先きほど來たおいし

1何と不思議にも、るみ子の類の

いろはまるで健康な少女のやうに

とまつた時計

0

ツテ キマシタ。ソシテ イトッテ モトノ コヤニ カ

クダモノラ

タクサン

デキマシタの

大チ

ヤ

ノタンケ

>

9

7

ゥ

書

(138

Th

=

チ

ウカ

力

ニラツ

ハコピマシタの

ワカレヲ

ンスイテ

カンパンカラ

部屋にかけられた程時間を見上げ なとお母さんは、おびえた機に お母さんは借る前りつかけまし りに明るい希望が輝き始めたので の色が滑えました。そしてその代 の色が滑えました。そしてその代

お母さんの心はられしさにふる

へてるます。

郷底い壁の上で呼ばはつめたい 一興へて 異れたのかはお母さんには 一階、何がるみ子にこの寄贈を

松林小學校

國語資本に出てゐる「水兵の母」 學藝會」を見る下

ガグシカクドセ リタクサンイ サヲ °ナヤ山ニ ツ ワツ ニ

リマセン・パリサン・パリナ

下ノホウへ

シタラ

ガシマシタ

除の仕方は水兵が實際にやつてる。特別が利いてゐる。しかしあの提 を は が からし と かし あの が もっとき からし の 戦 成 沈 か で 離 上 の 類 分 を 出 し た の は か し か し あ の 精 が もっとき か は の 最 が に 水 兵 の の無分を現すために日の丸の國族の甲板上の場面はよかつた。軍艦 がもつと効果的であつたと思ふっ たのは男子組なので母になる役を を続にしたもの「水兵の父」とし らょしい、しかし初めの「水兵の こしらへることが出來なかつたか 出を待ちくたびれてゐる鬼淫のためにラヂオで月の世界に即ひ合せめにラヂオで月の世界に即ひ合せ ばらしくよかつたっ であるが鳥と獣との戦争を現すし たものと同一の脚本によったもの よいと思ふ。からもりの獲唱はす リズミカルな腕押しの方か上品で 劇である、 単校麒として立派な要素を持つ

ツタラビ

シマテエオテッマンタ タテエオオラ ツカオナモ。

本語可能 (二年一組) 「最の酸で融んだのも良いと思った。 「最の酸で融んだのも良いと思った。」 出したのはい、思ひつきだっ催の を留の表現は上出來、女子の椰子 に目玉と口嘴をつけて低の感じを 校になった見重の科白は如何にも たたは野島の海戦にも出ず」の手 取人らしくてよかった「開けばそ 1 Aを書きならべたが、その他唱歌できるという。 も遊戯もすべてよく洗練されてる たっそれから學校離の服装がすべ に表現してるたのも難しく職じた で不素のまゝの服装に一寸工夫を

エン 0

大関場小単校一年
カー・シナセン
アクテー・シナセン
アクテー・シナセン
アクテー・シナセン
アクテー・シナセン
アクテー・シャル

以上整校戲について私の感じたま も上々の出來である。 理や鬼はいづれる大出 シテ ナラピシテ セン・ リヒデコ タノデ シハ p シイ」 3 =

シッキレエソレタペニガンファブラ

ナモミ ラクア トンオキタ セラレイナイ セラテトイ ナーアクガイカノ 7 ウシ

ヨナラ」 ニニンハ センスイテ ニハカニ サカワツソ

ツクロビ





レテ



大キクナッタ

鑑デしはどうも繰り燃心練習に懸命▲ジャンゲル して響逐し得るや否や疑問人大きしてペンセイシュクシュク」 高等音樂院舞踊科では來春早と 数へることになったさらだ。 しはどうも繰り感心しないに懸命▲ジャングルの悪生 

側断をぢーつと削めて彼方大和尚 (五十銭東京府西集鴨客仲高) 算術の實地授楽の準備と将導 を主任訓導界(十一月號) 瀬方 新刊教育書紹介 向機と

土博津赤 明證效有

る大評判の美白料地肌から美しくな

色白く

美しく舞く、整魔なお化粧にも… つも、『ウテナを使用なさいませ (東京ウテナ本線 久保政吉商店) ・一定領一國二國三國 ・一定領一國三國三國

れなかった畑より六石の大将収りを見けた者、後作で三石より 肝事

411...36

を認んて合理的に配合となるの二種が 対を認んで合理的に配合となるの二種が 対を認んで合理的に配合となるの二種が

オ茶漬ニ御用 トテモウ 茶 店

特價奉仕品 額様と 絕對的值下斷行 油繪用スケッスを対象を 烈速町三丁

どうも頭 ·為IZ常營之美譜比無良精質品 が 働かない ては早 Westminster

農 金肥を半減し或は使はずに 珍らしい 腷 音

野、数に響伏署で云ふ霞家にさつ あらゆる農作物の増收が出來る

2

オネエサ

されば今川かよる偉大の張明あるを知らざるは農家の一大演失なれば角群しくは疑問者である東京小 上も、英國で五劇六劇も常収を 農村不祝の今日、金肥を節約し場 得らると事は、實に展界へ

戦ひます 比較御鮮用を 特に触来品と と玉葉を飲んでも十分に味はへます。 科学の粹を悉した逸品

曹宗は様に熊航祭供で、後口が非常に宜しいから、直切職、機職を飲め、御を職く美しく致しますのみかっていい。 懇談及び総蔵の効力を競弾し、瞬間を防ぐは 徳味菩覧 特 のが、単くが、 快いが、 活商僅見及 京東 超水線石ワツミの

辻

利

食料品部

白河をすつかり出てしまつて、船はお書ごはんをいたよく頃には船は

(可控制 阿斯斯三美)

月二十一日

でつくりしおればら連中が目を売 びつくりしおればら連中が目を売

にして甲板に出る。

た私は光節も髪をおぶのも後頭し

常に眺めながら船

は白河ならざ

なんでも

老虎羅沖にさしからつてゐる。

船はいよく港内に入った。 大連の地をはつきりと揺き出

橋にはお迎への先生方を始

た。免きまで前面に立ちすくんで すこし寒いので、コートを潜て出

しめたり棚の上の荷物を下 皆は忙し相にトラ

したり

折から方向を解換した船は他

したい

ンタを開けたり

でゐる。カモメが白い麺をひるがでゐる。カモメが白い麺をひるが

り楽しみたいのだっ

子

ダンスを始める方もあるの

清らかに澄んだ朝の側風は難にひ

この演は幅も残くくい る自河の漫遊だ。

は白河を

曲つてるて話の通

なんだ。左手の方に鈴木油厨のタ その大きな栄養の南ふが大連の稚

私達は九日間の楽しい旅行を 敷の方達の遊が見える。 今なつかしの大連の地

ナシタ。オウブ ヘッテナデ 初

冬

き

芋 0 屋

且の数ヶ豚にが脱げ

久場川町一丁川十九番権石駅 艦沖幽縣中頭郡西原村高時首

類戦のあまり解決にあり削子は女 消と行方不明となつたほめ母戦は

機具膜は満洲方面にて

父親の捜査願

満洲で薬種屋を勢むと

七年間行方不明の

### 排球を奬勵 早速各所で實行に入る 昨日本社で協議

満鐵全社員に

(場) であるか、それのみでは在 など、場所を関うを表していた。 など、場所を表していた。 など、としていた。 を表し、としていた。 を表し、としていた。 を表し、といなので今回を整でを表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を表し、といなので今回を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を表し、といなので今回を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を表し、といなので今回を整合を表し、といなので今回を表し、といなので今回を表し、といなので今回を表し、といなのできない。

十二月一日を以て 本年十月一日から脚東州内の全日であるが、それのみでは在住物人

權有所業工

作臣、魏壽珍・三名は十日午後

日寢込を襲はれ

ボスト新聞を相手収り名譽監賞の『ベルリン十二日穀電』前ドイツ

て勝敗を争ぶてゐるが、精も ・ 各種運動競技を行ひ選手を ・ 投稿運動競技を行び選手を

すれば之に熟中し最も大切なる職業が不成績に終るに鑑み此種関か

所に牧容中の大阪グランド重役。名で強制端分に附され市ヶ谷刑務 瀆職罪にて

落第した學生は 明年から満洲醫大で

起訴保留の儘宁後六時釋放された降田謙一氏釋政 「東京十一日被配」藤田好三郎氏 は朝代神饌で起訴された此の微駿派た 意歌脈で起訴された此の微駿派た 保験されるはずである。なほ藤田氏は起訴と同時に

百三十圓を七十圓に値下

五人馬敷製方に二人組の支那人

姿を晦ま

店子の主張が勝つ

家賃を半減

来: 体に體に水 量に の 裁: 化: の 類= : 調: 判 し 折: 深: 停: 別 て 桁: 数: 裁: で み 各: 化:

は、と家主に交渉したが家主が脈ぜず 定委員會を招拝鑑定せしめたとこ 方一箇月七十圏を適常なりと決定 温暖、何れにか変を唱ました。国 世によりが呼口軽では直ちに非常 能ふるに至らなかつた

米澤地方初雪

新鮮な<br />
鶏卵を 夜初雲あり今朝まで地上五寸の積

ラブス

昭和四年十一月十二日(火曜日)自午前十一時相場(特産、綾砂、株式、各地田場)

內科專門

飼料の大量仕入れを行つて

へ・賣・る

大連養鷄組合の企て

が タンアを押すべしとする機がある 鶴田俊に器を購入し希望に従ひ一 鶴田のき二厘の料金で絵を測のス

イク間の総斉器は二萬圓餘の



は十二日午後二時より埠一人、ラデオ憧し、 大気神報・ 大災防止 七、天氣神報・ 大災防止 六、料理献立



店館代館園中 洋 徳 都覧市連大 第三七五話書

成立つ? 十一日大連署へ市中飲食店

(可思斯里 \$第三年)

を被是矛盾の御頭扱あるべき物を使用許可せらるよが如前職者を使用許可せらるよが如前職を受けて疑はざるものに御座長 では 一、 武学教は 豊春が目的にして機を長

双方の申分はコウ

既に過ぎす従って自家の資春婦 (鉄座神祭業者に於て飲食店を)

用を看過せられ、受は鑑整編のに反し、等しく飲食店管薬者なに反し、等しく飲食店管薬者なに反し、等しく飲食店管薬者なに反し、等しく飲食店管薬者ない。

澤幡部長殺

日午後正式に起訴された。 地地田廟牧事の取職べの結果十一 神太工衆悪秘藤田好三郎・は金澤

類ピル各階の防火設備その他の観

永安街に

二人組强盗

大虾市西公園吧三(黑沢到知路)

せたと攻撃した爲めである

調停裁判で

遂に起訴さる

滕田好三郎氏

馬賊團頭目捕はる

熊岳城に舞戾り部下二名諸共に

三、一般財界の本況に原因したる 目下の本景無は胸り達坂町遊園に のみに非ず若し夫達坂町遊園に らんか、達坂町遊廊の不景景に に向つて戦武を加へたる結果な 政衆総に日賢め先づ達坂町方面 分は年類契約にして批 れば自然開放する

許可申請

からそれによること」なつた。数 | あると | 本でも現在の購美必要はないが形容無さる壁生は選手となるとは出 | 本でも現在の購美必要はないが形容無さる壁生は選手となるとは出 | 本でも現在の購美必要はないが形 に於て吾業者もこの細となるの他に照他に 職となるの他に照他に 職となるの他に照他に 関係が をなるの他に解他に のでは是れ國 機能の機能の機能のである。

営業の方法

、室内には卓子並に椅子を配置別とし出入扉を設け街路より透りとし出入扉を設け街路より透

施設の方法

沙河口9433。夜间用3628

主義で萬事は開東廊の方 久下程沙河口爾署

C B A 種種

取和四年十一月十二日 大連市浪運町 大連市浪運町 八四七大雪

選出午後四時頭の常石衛門氏の十二



国际海岛运行语行行行宣讯台 全0九三人称 會 商 英 分町速浪速发